具 未 鈴 人行兒 治代喜本橋 人鄉鄉 孫武 村本 人剛印 她看一冊可閱公東市進大

動の鐵案を提げ

让報日洲清社會式炸所行以

奥地十箇所に病院

信市氏(関東脚外事課長)

務長)同上

下二十名同上

ゴクリュ鳴な谷み込んだ。 ゴクリュ鳴な谷み込んだ。 かあんなにもつりこく附き懸ってあたのな、ちゃ、まるで知らなかってのか」

三曲合奏

響 く ら ペ 今 井 菱 松 駅 中のばめ太夫

ラの

一千

ラ草 温 足 牧

育 がオルガの船唄

かなるは大河原から目を放さて

田專太郎書

の十月新譜

(九月廿日發賣)4

島政二

(124)

かかるの目は、目の前にゐる登

お子様のために

舟至由度權·秋日傳成 九 月 十 日

田被薪

H

さざい

赤字覺悟

で施療ご實費診療

鐵、帝政記念に

本代表けふ鹿島立

來月下旬豫備會商開始

國經由ロンドンへ向つたが、一行は大西洋航路マンンでは、一方は大西洋航路でいた。大いて午後三時横濱解纜の日枝丸に乗船米の極大な見返りを受けて二十日午後常時五十二分東京職動卵車で擬変態の極本動治書語前、光延東洋少佐、代表部附殿田書語前等を鑑要的極本動治書語前、光延東洋少佐、代表部附殿田書語前等を鑑

に着手して居り 三ケ所

電業公司監督規定 である、東年度

兩國の勅令を公布

日出帆

外遊する滿電底粉課長京棚肝

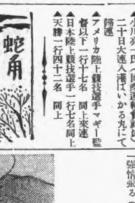
























▲酒井陽大佐(北支那駐屯軍参謀 A ・ 大原幾久雄氏(編纂京城販賣事 ・ 大原幾久雄氏(編纂京城販賣事 ・ 大原幾久雄氏(編纂京城販賣事 ・ 大原幾久雄氏(編纂京城販賣事 五十崎陽三氏(前大連市會議員)

かいたか うにしながら大神聴が呼んだ。 いい加減にしな

府り職們のほか通認、 数型に記述する都市は 地のうち本年度起設 の六ケ所でなほ鑑所は本年度に拠 の六ケ所でなほ鑑所は本年度に拠 の六ケ所でなほ鑑所は本年度に拠 説する方針であったが新十や頻認 説する方針であったが新十や頻認 説する方針であったが新十や頻認 説する方針であったが新十や頻認 説する方針であったが新十や頻認 説する方針であったが新十や頻認 報中に整整することに歴史 数単に整整されるため泰山線無嫌或は が整整されるため泰山線無嫌或は

は、の強がキリーに疲れたかなるは、の強がキリーに疲れたかなるは、 「おい」

飛びするつもりだつた、こころが だと思つた。覧は、態兵衛の留守 だと思つた。覧は、態兵衛の留守 たのだ。お前な優して、忠兵衛が 様ち物になった時一即見て以来、 様のでは、お前が忠兵衛の だが飛び掛つて来たら引ッ外をう いする獣城の色にキーンは緊張して が、てゐた。

響小 小豐 製市 小響 林 林山 田丸 本山 山下 子 代 代一 正藤 代 現子 子郷 夫山 子變

からないない からす

歌行流の秋るた爽蝦

あこがれの

浪 浪 花 節 節 高新醇 孝子迷の印籠 吉田奈良丸母の おけさ 事々木米若 電左近 四市家文

ルレレットの構造を製日間研究し

國民の批判を待つ

何處でも日本語で押し通す

けム鹿島立つ

山本少將語る

の北支政策を

汪兩氏は確認

會計檢查 會計檢查 二十日午後回時四十分著述、二十 四日まで關東縣、二十五日より月 四日まで開東縣、二十五日より月

縦ばダなンてのもある。

ならの事變ドロ、中には三角洲

その蘇聯側の越境類々、火事ド

米博松田歐洲の近隣を祝祭と明稿十月二十一日福館を表の定期総で

職の恐日患者よいな題されやう沿近の日満人味を除つて粉近、

は既に

職を調査研究する事が記題さ舞ら

北支の對日感情

齋藤大使の視察印象

渡支の米大使

きのム東京發

浦州總清航祭際に便宜供乗な依頼に保証し難いさいひ、又英大使は

とた軽米整臓大便は小憩の後光で 十日午前六時種の直通弾車で来率 北平方庫 北平方庫

政局の態度が斯

以上會談の成否は再開後

新軍縮案の電で配に松平工

原則を提示し堂々で開始

在留外人徵稅

定で龍に松平大使と充分打合せ後一十一ガリア號にて十月十六日英國サザンフトン餐、同日口

一行は大西洋航路ペレン一行は大西洋航路ペレン

て部内に響っ いはせた明職な髪型家さしかにかけて居並ぶ紅毛人を

(日曜金)

本政策に基くものである、演習上の防備を確保する米海軍の根を近接船領さ領海さか連絡も洋地近接船領さ領海さか連絡も洋地近接船領である。

『東京二十日登員通』 定機政争官 を歴は十九日正午宿根電賦に開かれたが、席上基態の際障で決定し た在清機構成業家大概につき適田 た在清機構成業家大概につき適田 につき観々施設をおれたが、金瀬辺

り、且つ軍雷局の急速質権の主張

いては勝麻百出し

のであるので、目下のは「官より大概を決定したのみで終六」にも建しなかつた日については何分兼算を「監察験あり、減田氏その他の球砕」の意見が開除され

【北平特體二十日聲】 南京上 歸任せる黄郛氏語る

仕滿新機構の實施期

日までの態度は液温的で到底今後の運動を幹部に一任して罷くこさは出来ない。よつて巡査階級が第一線に立つて幹部をリードし以て目的の質徹を期で

政務官會議結論に達

せど

られて座長の手

表は正午祭田聖芸院施出された 動の無化を繰り、近く発達派を 一時三十分散館、なほ鑑名校を 一時三十分散館、なは、近く発達派を 一時三十分散館、なは、公館解に 悪なで、近く発達派を 大きで取せめられた。これが 連続を は正午祭田聖芸院を はり十 一時三十分散館、なは の手能で取せめられた。 で、これが 悪なされた。 を に 変めること。 ないまま 変に 変めること。 ないまた。 ないまた。 で、 に 変が ないまた。 なった。 なった。

議會の論戦

お前だ、お前の物だ」

た。引ッ擦ふには、三枝を貼らせれて、別所にぬるさ分つた時には

深刻豫想

在滿機構問題

▲廣瀬豐作氏(大穀省文書課長)
二十日午前七時省別単にて來連
ヤマトホテルへ投宿
中里末雄氏(郷護士)同上平壤へ
◆中里末雄氏(遞信局電氣除長)
二十日午前七時二十分新京より 前十一時三十分大連灌外着鞭災 機の筋、風強くして船に姿勢ふっ 僧しばしき相手よ、願かにヤッつ アメリカの巨人群来る、僧さ 大場響移局長の足り空なる飛行

につき身分を保険するさはいふが、初めから整理するさいうているものでなく心細いこさだ。 もかし今騒ぐさきでなく、ゆつよくりご野策を練つて東部さも協ってつっというでもできた、旅順に関つてごうするか、それは今いふこさは出っないが私には自分の考へもある(寫眞は大場局長) 感じい現地の鼻心に、吹き飛ば 山峡に蜻蛉流打つや風強しの れの用心が強め必要。

「大概がはく 別所へ騰された」

部之 **两名**

等洋琴協奏曲-197

推弄

樂大郎祝典―序書(ブラームス)

管及提 社 業 等

ウザの泉(シマノソスキー) ン語立歌劇場管絃雕

臺灣に歸省 一族廿二名を引具して の何な双航に沿べながら流暢な日つた、同氏を外突部に訪へば喜び

く確立し態度の政治も顕真に進歩 他の顧先の際に齢でたき急減を有 してるたが、湯州園の外突球策が がでれたは総でより郷里家郷新作

滿洲國の 產業調查

わる前ギリシャ公使川島 一日 教画面 通機問題の 川島公使來滿

けふ辭表提 係蝶名林巡査な座長に推し、座長 如何の執るべき

機能が布かれんさしてゐる。こ に我々の主義主張さ異れる政治 に我々の主義主張さ異れる政治

を演奏に踏つたさころ「粋部に帰

神在途上の 大場警務局長談

策は言へない

壁ぐ時に非ず

内幹部の執れる今

律案を作り議會に提出協戦を求むしてあるが、大概省は立紀中の官 「東京二十日登回通」在海機構改 東殿の作歌に収まらず、又陸東省 東殿の作歌に収まらず、又陸東省 様である。 さ反應を抱き、普し続れの強継策を 新されしてなるが、 動族院と 球形観音の が、 動族院と 球比層 故今後の政策送行上必ず破綻な來

子の融脈を振り捧めてゐた。 がなるは思はで目な見聞いた。 がなるは思はで目な見聞いた。 一部な家で出したのが、あの電報 「あの電報を見れば、終版で修は か、前よりや二倍も掛いい、修を か、前よりや二倍も掛いい、修を つた。締めたさ思ったればし。様 開が附いて行つたのを知らないだ 新熊紀行の龍梅まで、見え職れに手が三枝なら、仕事が仕場い……

> 病洋 唱音 美等 英零 英零 事遊病の女・飯間ペリー タル・モーン 提琴協奏曲―第二章(パガ パット 実 策 前 合プランデンブルク協義曲―第2番(長 前一號イ長漢(シューバート) * #田一種ロ根類(ショバン) ツリ(モーツアルト) かん (シューパート)

行 「新京電話」展近常州岡各州頭の | 格談称(元幣部) | 海田正明=野名 | は | 大野で | 大

は果然繁殖の色を震はきこれが触りますなり。 は果然繁殖の色を震はきこれが触りますなり。 はまって事性にいよく一覧大化 おはよって事性にいよく一覧大化 はさなり事権は要を選署に引渡し たが蔵に選去率分に附した機様で たが蔵に選去率分に附した機様で

が自国山麓梯島橋路切りに窓から日午後四時四十五分紀駅霧壁が車

今日の小洋相場(時中)

周水子に勢揃

ひし

た海軍機

機密文書を盗み

勝氏、歓迎の静大連市へパンド、挨拶本社主

秋のスポーツ・シーズンを飾る日 ・ 大会日本代表選手一行は別様の血 ・ 大会日本代表選手一行は別様の血 ・ 大会日本代表選手一行は別様の血 ・ 大会日本代表選手一行は別様の血 ・ 大会日本代表選手の地側より出場。

二十一日午後七時中より線和動館で、この大会を一層線大にも且の概と、に出場する瞬間選手を概念にも且の概とにも見つ解という。 これが本社では、の歴史的教徒会

を構立し無燃頓に続れる米国選技を構立し無燃煙に続いて世界的好記録 と構立し無燃煙に続いて世界的好記録

舟同越吳

茶氣滿々

-選手

朗らかな着連風景

日米陸上軍來る

つたが一行の指揮電霧原大佐に十二時期び空の人さなり側都に向

米陸上選手來る

この日地頭

四整列し路で影響

ンの補給、機能の整備に大

周水子原頭の偉觀

ことえつきさうな寒さだ、その中で、出肺恐怖の空の剪士たちは凜々しい飛行脈に身を彫め四度、風速十米、熱風に懸せられ、あたりの芝生はよれくしに砕け、デツさしてゐるご手も壯途に上る我が大海軍機の襟鋭が鳴の超光を冷び、その銀翼は燃べご瞬り映えてゐる、線温二十日聰の周水子願頭は物凄い熱風だ、黎明をついて大連飛行場にはけふ湍洲國首都訪問の二十日聰の周水子願頭は物凄い熱風だ、黎明をついて大連飛行場にはけふ湍洲國首都訪問の 勇躍國都 の訪問

せて語るのだつた、午前六時年、さわが艦長は謝料たる氣魄を漂ら ・すらり空の勇

【事天豊居】 両都説問の途大戦合 総賦の艦上機は午前十時五分先戦 総賦の艦上機は午前十時五分先戦 緊縮隊形で難コースを突破

時五分・奉天に着く 地光焼さして輝き「風吹か晴れの碧空には一片の雪も

向ひ風の為可吸り難コースであれて来ることが出来なかったが新で来ることが出来なかったが新で来ることが出来なかったが新して素解像

艦隊入港第三日

地の高泉の参集を求めて協議し橋 地の高泉の参集を求めて協議し橋 地の高泉の参集を求めて協議し橋

軍縮問題講演 聯合艦隊

今近常店に入り込み土産物の職入 华頭橋内の大連水上行敵組合の職 おまけに洋湾等の試飲までさせる 潮を 浴びた取り気にせ

艦隊

舶表時計

は

(順はるい)

15

時計 洋

店

森 洋 行

近

歡迎

無税港の大連で

る波を切つて雅ぶ爽快なペデッ **埠頭側は大事なさり送に拝観な中** た、折角の拝殿し出来

に焼られたが、準職は些か寂しい 震り舞蹈、街は相響らす艦隊部で行く、けふばかり海上は海軍 か胸に描きながら市中へ、市中へ 栗和真の群は樂しい一日の鎌定の報道の群は樂に、この販賣店を經 天氣 歌歌なれご ふばかり海上は海 主催 ジャパン・ツーリスト・ビューローを登 大人一園六〇銭 小人一園 一番 前七・四五 婦着 後三・五〇十分 前七・四五 婦着 後三・五〇十分 前七・四五 婦着 後三・五〇十分 前七・四五 婦者 後三・五〇十分 が 山見 学と 芋掘り

龍頭行の會百名募集

本日からデワーの

ライトランチを始めました 是非一度御試食下さい

五

金剛山探勝會 金剛山探勝會

ガス 會 計 向 側

ワ

電話八六〇七番

京· 大量 (第三分野体)

車に継ぎ車機は減蒸々々さなり馬力は能が車機は減蒸をすることが 呑氣な御本. 船客失踪事件 和洋菓子ミ喫茶の店 我等が

市内警域町四四線接置原天狗灌、西瀬三丁目離本元一の長女元子へにな年二月上旬大阪の阪本駅の総介で大阪市西區本町瀬三丁目離本元一の長女元子へ 難病者の福音 行方不明になった事代については 大阪融版側でも本版側でも極る心 大阪融版側でも本版側でも極る心 大変融版側でも本版側でも極る心 大変融版側でも本版例でも極る心 大変融版側でも本版例でも極る心 大変融版側でも本版例でも 十七日本田 なるものより「解練の低楽版取り しため段下網接甲」を通知あり続く 際、乗艇した宮の航客本田九州男の戦略、定期船は秦丸が門司出順の が切符だけなポー わた・ふじ

マンニガム主将は干前十一 滿鐵總裁訪問 二十日本

眞綿ふじん·夜 臭地

洗羅晚曜軒の誤りにつき訂正 の記事中伏見護晩駅軒さあるは巻 訂正 二十日夕刊 死に結ぶ細!

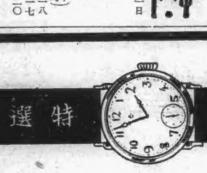


各地温度(記十一時) 大連二八 新泉州二〇

カフエーで女給か働き、父元一なアエーで女給か働き人な大阪に派してて不審が抱き人な大阪に派して

興安總署の日系官吏

で密送



元氣で越へる五

午餐を賜る 各都市への

八月廿

日より二十日まで

渡織

末次長官一行 1911年秋天大年 老 表

同八昧幸 新遊遊院な活動同居屋 勝り午後一時源下、午後四時西公 上にて行居場の説明にて日都の趣 壁に於ける日常信託合同主催の動 上にて行居場の説明にて日都の趣 壁に於ける日常信託合同主催の動 時級現を表話と同九時型が東川金 運動を暫に利服とだが東大司金長 時級現を表話と同九時型が東川金 運動を暫に利服とだが東大司金長 根か展読後同十一時宮廷府に御候 太壁でる軟派を行つた

官一行は滿洲國訪問の第一夜をヤ

五分新京輸社を参拝し 歡迎相撲大會

あす電園下で

B

本秩父丹前地の色々と夜具地、座布團地、裏絹類

產地直賣

磐大 城 町連

ちるなや

電話六三九二番

◇今秋の絣流行の時代潮流に

獨特の珍柄種

賣出

数音響跳りもさに響談楽組具の歌音を含う音。海 電磁音で は本社後の歌音を言いません。 電々並に水社後の歌音を変しまればない。 電々並に水社後の歌音を表しまればない。 相撲さ端観は常岡海軍の二大運動

スポーツ萬攀線、鷲巣の少女 日佛對抗競技大會質況三巻へへ) 大阪のゴロッキ

誇る

置屋を脅迫

珍 味 中 心 北京料理 大

を歡

カンニガム主教は生前十一時治療

豪華なプログラムを揃

明夜·協和會館で

將士歡迎會

西

特選映畫週間

特選映畫週間

が、右の結果日活映識に来る二十 出張所長は十九日夜急遊赴奉した 出張所長は十九日夜急遊赴奉した 出張所長は十九日夜急遊赴奉した 出張所長は十九日夜急遊赴奉した

社会式技品食スーソクラドルブ 京京

秋の月ならげる渡る……

-

のんだら気が晴れる

讀者優待券(松殿)

讀者優待券人松風り

後援 滿洲日報社

滿洲日報社

獨逸全發聲「卜

佛蘭西映畵『他

にろヴ

ガ

日活音響版

前

日活館にて・讀者優待

機獨佛名映畵週間

はにピヨイご跳越して、ほゝゝささ小突いたまゝ、白い晒もあらっかった。

世展の者は、こま堂の人柱に塗り

な、一度歌歌したた騰は、

何に、こんなさころに、こんな

なり。お教の下さらば、世々生々なり。お教の下さらば、世々生々なり。お教の下さらば、世々生々ない。まちゃんなして、今この屋の上

日

また。 (大震)ない。 (大震)な

空間第三市 〇七五五〇 八四四五三店 七百四五三店

洋服類驚费

げさねの米白

满

集中して秋シーズンの話題な臓に ゲオルガの流れに終えぬ抒慨詩を ながける本社後提の類像名書週間は 奏である。この佛館西映談の楽社 変二日に入り飲々焼評網識の頂火 篇に大いでドイツ最大のスペクタ は燃暖の火の如くファンの興味な クル映画「トンネル」が上映され は燃暖の火の如くファンの興味な クル映画「トンネル」が上映され なが、第二トして秋シーズンの話題な臓に デイツが野の流れに終えぬ抒慨詩な 変記 なが、第二ト・ンネル」が上映され は、といった。 1 といった。 1 といった。 2 といった。 2 といった。 2 といった。 2 といった。 2 といった。 3 といった。 4 といった。 4

任0,00

松樹

す

十五州

トンネル 同1.19 同5.19

キッコウマン特油(1寸を) 村 特 等 米 一吸 村 オ ・

俊個斤斤棚升 以 升 以

日野村

DER DE COMPANION D

同4.00

同9.24

いて 大谷川ででも合いて 大谷川ででも合い



さ、足能の間を逃して、郷三郎にかある」 氷遠の疑問符合し

された一戦が上の歌 「何かさ思へば、下り」

竹筒の口を、繋で排してあるの 地の励まりがついて

げたのか見るさ、職花活けのおさ川岸の水草の根の間から摘まみ上 wがあるさは、知らなんだが──-」 面白い、助けてや 膳

りな臭れて、仲質の暴れん城さ先した。何歳へても顔を出し度い 乃やお藤姉姐まで、 のて、新屋かよち登 さ腰窩の蔓につかまり 甲場がひとく がれば間に合ふった。 水炭の文に

つたのです。

映重 と演藝 魅惑

獨佛名畵競映陣

三回興行の日活館に

本紙の割引券を持つて殺到

8

テマリ グリココロコ

染色、

して世

家へ、裏から無願込んだ時は…… さお美夜ちやんの幽閉されてぬる たい た腰さ瀬三郎へ配つ オツネンミ 產

忘

(231)

_{町衛性販大} 所造製品原河

野信井電圧中渡電路森塚電大種 話長上五町村邊四島谷本芸術 七町ハベニテカ三八大田町 三二ツモルフラススの四三二 番六ノ番ンルノ番五ミい番ンエ

月

孤、 間

8日間の旅行 9月22日 土曜 大連費 24日 月曜 京城農寮 25日 火曜 內金剛深勝 26-27日水-木曜外金剛深勝 28日 金曜 五龍背潭泉 29日 土曜 大連養

主

ジヤパンツーリストビユーロー 伊勢町電話3715・4713

紅葉の絶好期

票 毛皮ナメン ***********

呼電話 〇二九三番 大連沙河口元町五七 洗濯、カワウソ、

色揚顔付ケ

愉快なる倶樂部へ 家包俱樂部

物大売出~ 山五日ヨリ二日間 ******

始致します 漢販資も近日開

ジアの鼠」の名優インキジノフの一刷込優活物を持参閲賞されたいせな以て爆撃で前の六大スター確合 に感視が墜揺されるから三回連載ンス映画駅空前の六大スター確合 に感視が墜揺されるから三回連載の燃作小説を観察に採生してフラーリーンに関戦と解評論くが知く更のに得いません。 新富座新興と絕緣し― 日活と握手・奉天銀幕異變 製出場所も大阪支店に向って新富地場所に継縁を通告、又同時に新新露座脈は十九日観突然新熊滿州新露座脈は十九日観突然新熊滿州

發明新

界門(六州及志)

で、心神いた一人が、かんだう提いた一人が、かんだ態の瞬へ、かいげる。 で、心神いた一人が、がんだう提いたっ人が、がんだう提いで、かいげる。

の乳管を濃粒なくなルン ノスタイの伴奏音樂もよくベルン ノスタイの伴奏音樂もよくベルン キー効果を挟けて特響すべき出来 は、ないかと監督が総様に駆使するトー

後田康院

吹込まる コロムビアレコ

楽隊の物語。 **殉職の警察** 楽隊の物語。 **殉職の警察** 祭官警

琵筑 琶前

Щш

元の

加藤庄市

うない つめたい 最初の 品 A 大日本麥酒株式

115世黑回流9分

インガキ

初顔合せの明朗篇

貸與せぬ方針

新設計畫

工場に打撃か

設を対産交易所を

北滿農民を救ふ

長、谷川衛育役、敵事部各匹技及めての機括的脱資金融で午前甲は一十日午前九時より社員供樂部二院・天夜影響集師に入った本年度師・大、夜影響要無に入った本年度師・大・夜影響要無に入った本年度師・大・夜影響要無に入った本年度師・大・夜影響要無に入った本年度師・大・夜影響を乗加し開催され

人絹五割(宮際は七割除稅(割、砂糖十五割、パイナッブル十二

勝八月の能が接へさ内地、上海圏 内のみで無味関散の市況であった 構修って新規手合せなく手仕舞歌

商事部販賣會議

けふ全般的炭繰協議

ではれてある機能であるが、ソ職が は海州において番奏を動何なる方 ではれてある機能であるが、ソ職が はれてある機能であるが、ソ職が ではれてある機能であるが、ソ職が ではれてある機能であるが、ソ職が ではれてある機能であるが、ソ職が であるが、ソ職が であるが、ソ職が であるが、ソ職が

大連綿糸市況

谷、木村、山中の諸氏も参加し がルデレン、輸出分科會主任は がルデレン、輸出分科會主任は 命される事になり具勢的討職は 輸入問題な先づ討職する事に決 を定した

新京商議が開始

治外法權撤廢と

頁擔割合 .

さらて臓器されることな感情せれ機は階層地在体料人に別個の資機

底は二十日午前七時四十分養殖単

で吟述したが合同問題に就て語る 合同問題の經過並に数組入會で の決定事項は既に新聞で報道さ れた通りてそれ以上お話しする やうな新らしいこさはない、今 後のプランさか機構なごはれて これから協議決定されるのであ つて何さら決つてゐない、新會 社が出來るここによつて現在の

滿洲雪樂般份公司發起人の一 して新京で開かれた強地人会に列

附屬地返還の影響

大連商議の意見書画

等のを決定の地方に、 のを表して、 のを表して、 を表して、 のを表して、 のを表して、 のを表して、 のを表して、 のを表して、 ののを表して、 ののを表して、 ののを表して、 ののを表して、 ののを表して、 ののを表して、 ののを表して、 ののを表して、 ののを、 を表して、 ののを、 を表して、 のので、 を表して、 のので、 を表して、 のので、 のので

才未 福奉公司 で記載の で記述

にも述べた如く三十餘年来願泉州。

ので度に一ヶ月間月散的な意

輸出輸入二部に分つ

日に開催

の間一時的有蓋単不足を來し 窓である

満電解消は未だ

待遇低下も行はぬ

上海また眺海を示し智市は蒙洲粉なほ上側の市場に海外一選一選に正十萬窓の入膏を見る筈である、

であつたが、中旬は依然濠洲粉の

は能増な辿つたが現在は一服財態

古泉技師長の歸

0

温みが短し

る不能に なるさそろそ

內地寄安引

地株聢り

奥地相

場

株

九 高

北渡正期の前場等りは大株九十錢安、大新八十錢安、美新八十錢安、美新八十錢安、新新二個四十錢安と低落心大が引高で結局保合、東原規期の新華も一個五六十錢高。巨屋と當市の五品も寄三十錢安、明元十錢高、日産一個三十錢高、日産一個三十錢高、日産一個三十錢高。

ジ 関格型 現物

104,40

104,190

金剛等人現物

1111780

KE,IIII

乏

求めて工場の擴張さ設備の完成を

三報町に千六百六十餘城の敷地を

此處に於いてか大正十三年大速

現在萬玉工場の生産能力は

化粧石鹼は三十萬個 洗濯石鹼は四百萬個

に選ぶべき事である。

現萬干惣太郎氏(彼名樂治氏)

今中北部方面に泛進出して居り

磨石鹼は二

來天票 現 現 切

H-200 20

芝

日 日蘭會商委員會

審議會で決定の模様

三分の一拂込

引きついき大連坪頭の

株開放は十五社

の如き特定所引の複雑から発れるの態立に依つて農団は完全に中間の態立に依つて農団は完全に中間

幹続な為する

資本五百萬圓

等の見精器を二十日酸工術に提出 ては出車に映念せられるものもあいり、現だしく注目されてゐるが日本郷 三六七庭に低下し、混像大豆の如果だしく注目されてゐるが日本郷 三六七庭に低下し、混像大豆の如果だしく注目されてゐるが日本郷 三六七庭に低下し、混像大豆の如果だしく注目されてゐるが日本郷 三六七庭に低下し、混像大豆の如果でしては出車に映念せられるものもあり。 三十五、六風程度であるさ
三十五、六風程度であるさ
生産費計算は明確でないが大體
生産費計算は明確でないが大體

下り本位輸送に 貨車計畫成る 上り貨物は漸く減少

輪松出處 月より配車係が地でた下旬の輸送性 送しほど本月中を以て完了する見

社内石炭 中旬の輸送計畫二五、五〇四頭に對し十八日迄 五一、五〇四頭に對し十八日迄 の質線は一日平均四〇〇睫の増 送をなるたが下旬は採炭休業の 関係もあり槐遠敷において少し く減じ二三二、一〇〇胆の登送 でするでけてかり、平日の使用 要求を受けてかり、平日の使用

「本大電話」大阪中山鍛工所の総 製造良好のためは下同工場の境践 がする素天工製地域内の日前輸製 がする素天工製地域内の日前輸製

た関係もあり所要車選増を示した関係もあり所要車選増を示したが仲秋節を境さして一段落された。定量貨物三〇六、三四五匹底、定量貨物三〇六、二四五匹底、定量貨物に比し二五、〇〇〇00の減少さなりいよくとり本位の輸送が下り本位の輸送によっなつた。

琺瑯鐵器工場

十月迄に完成

野出く作機が の結果取動で未晒 の結果取動で未晒 の結果取動で未晒 原では 自己が設立を認可 結成する事さなり 一米 間金巾にも

へした力雅を入れて

綿織 闡印向を統制 **縣組認可**

> 人颇有數表主要 以港十 出超千二百萬圓

数國通」 順印政府で 中旬気が成績左の如し(単位

出越一〇、九二一一二、七〇二 輸出 七〇、〇八八 四四、二〇三 輸出 七〇、八八 四四、二〇三 上旬小麥輸入

輸入高は八十七萬八千四百五袋、九月上旬における大連港の小季級 濠洲物が優勢

10. 機能と深洲外が強調を見せ、上旬倫 機能は三十五萬五千然で、十日現 で北域在康部は自三十七半 六盛、渝洲粉は六十四萬千五百九 車の内新豆三車が出過つた薬ニ○、三井一〇の三十車の油別筋の七〇の合計百車の由油別筋の七〇の合計百車の由油別筋の七〇の合計百車の由地の大豆は四銭方安を軟調にて三次の内が出る。

米日爲替安で **鈔票**昻騰

◆現物前場(單位經) ●銀物前場(單位經)

戦年勃毅す るや諸州全

は一層の破党を織けた結婚満洲特別は出版の を受強を動きて此れを建っ続の を受ける。 を受ける。 を受ける。 を受ける。 を受ける。 を受ける。 をしている。 をでは、 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 でいる。 でい。 でいる。 で 玉洋行は活象を呈し一般の狩浜を出て見る味が出れる味を絶ち鬼然萬 き信用を機様したるに力を得てなり、場で恰も順風に帆を駆けたるが如

不動が全部舶来品に限られては に折柄日常生活に缺く可らざ大豆に依り大豆下薬な農業せ たが其の間頼米記さの戦争に なめ不能工業解徴に努力して の事に着目幾多の機性と主機 にして低廉なる品を製造す

理想的に製出さ 無候に速覚せて世料し個良 の不能要造に成功したのです カシャ石酸は最新化學を應用

るので、地質工場用炭の需給に就 なほ輪出炭の激質に伴って著る しく粉炭の不足を感じてあるた しく粉炭の不足を感じてあるた が、炭種別による配給に就いて 本會縦において棲本計畫を樹立 するここゝなつてゐる 需要も本格館に増加す をにおける副般的炭素 をにおける副般的炭素 獨逸輸入稅免除 物不足に悩み

三分の一概込みさなる管であると 1 で悪性楽部で観視性を取るが新き出れば本金五百萬四 でなつたが新き出れば本金五百萬四 でなったが新き出れば本金五百萬四 でなったが新き出れば本金五百萬四 で

を禁止する一 油粉制限も緩和

か

教服境 三片スカニ 発服境 三片スカニ

大阪株式

大阪棉花 大阪棉花

これはドイツが如何に関内の歌い。 これはドイツが如何に関内の歌いました。 はの情勢では海粉の輪人ので、此の情勢では海粉の輪人ので、此の情勢では海粉の輪人ので、から、 知何に個内の歌場

第二回 元州公分中 元州公分中 元州公分中 元州公分中 元州公分中 元州公分中 元州公分中

多かつた。

聯蕎麥買付

か一切の人札に施書かり 外移な 【於日二十日鼓國通】禁口取引所 營口取引所 近く設立か

入札 ウ國

に参加の登電所

際会では此の極雲以六十餘名が何 於て研究中であつたが、満洲側標 についてはその後日端側議に アペ 七五三一十十段 ロゴー 月月月月月月日 ● 棉 チル

原京株式

東京期米

印度麻袋 ・ 中度麻袋

ガイ国からへ がイ国からへ を通じて持な を通じて持な

况公开的

●包 米 出來不申

産

度の鍵金を含し取引所の等現を膨ったので、日本側でも來る二十二日 買氣薄に 大豆軟調

神の定期に大豆は質氣漆の折柄 地の変別に大豆は質氣ありて 強調を呈こ高粱は泉地筋質に強含 を辿った

◆定期前場(銀近) ○現物前場(銀处)
○現物前場(銀处)
○現物前場(銀处)
○大豆(裸物 出來不申
大豆(裸物 出來不申
甘 柏 二二六〇 四一九〇
出來高 百車
簡潔 出來不申
包 來 出來不申
包 米 出來不申

中旬貿易

大豆 三六二二字 高業 一〇七五事 豆粕生產高(廿日) 豆粕生產高(廿日) 定期喰合高(料九日

该钞 土日館

商

麻袋漸落 四、四、四、四、四、四、四、四、二、八九〇〇枚枚枚枚 E'EOC 品

之を遊覧しより 機強るな行 時歐洲大

の歌戦後は成功と送に

諸州地方の風土に適し刺戟性無 事に努力して来たが遂に萬玉福 さまり焼まざる研究を織けて他

れてゐた爲日本製品はきはめて 温顔に笑かふくんで左の如く語る 質素外の第一人者にる質像を示し の在る事は異に感謝に堪へませ 御援助に依り幸い大過なく今日 全浦の皆様の親切なる御指導さ 父は明治卅九年渡滿して一米

様に見るに止まつてゐた。

ら明治四十一年小規模でも下場なの野常にて比較能安便なるに着け の野常にて比較能安便なるに着け 究に着手した結果の粧不識の主要のて飛動に製酵像に挺進す可く配 設置し傍ら蠟燭製造なも乗れて 氏は深く此を遺憾さなし敢然立 穀酷な営み静かに浦洲の将來な 栗方町に尚さら微弱 て内地震記の輸入少なく流洲下 ・帕米品の輸入を俟つの外は 時の浦州は戦後さ

充分ならざ 仕入不利な 料包製品の

大阪で創立總會

の經濟的影響五、行政權返還

大い 年 七 年 八 年 八 年 七 年 八 年 七 年 八 年 100-115、115-5元 155-5元 1

| 関人が脈枕の跳戦さして極めて繋

てないことは附続地内居住の湯洲 金骸に於て二六・五%より張捷と

一 できまでもないが過半の居代者が 所くの如き貨機能力の乏しい清洲 がならてれば、今後附原地に要す がならてなる。既に、教育機能に力のみが があとになる。既に、教育機能に要す があとになる。既に、教育機能に要す があるになる。既に、教育機能に要す がある。既に、教育機能に要す がある。なら、教育を確認し、教育を がある。なら、教育を がある。なら、教育を がある。なら、教育を がある。なら、教育を がある。なら、教育を がある。なら、教育を がある。なら、、教育を ののの、ない。 ののの、ない。 ののの、ない。 ののので、 のののでで行は ない。 のののでで行は のののでで行は ののでで行は のので、 ののでで行は のので、 ののでで行は のので、 ののでで行は のので、 ののでで行は のので、 のので、 ののでで行は のので、 ののでで行は のので、 ののでで行は のので、 ののでで行は のので、 のので、 のので、 のので、 ののでで行は のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 ののでで行は のので、 の

透に増大する筈で いが、質際の資産 にが、質際の資産 から野菜が耐浸を集めて今日 から野菜が高さ。 から野菜が高さ。 では山元 で出炭を登職と百萬帳の貯炭の の出炭を登職と百萬帳の貯炭の の出炭を登職と百萬帳の貯炭の

税院の成分に困つた管時は税

田采高 二百六十九章

● 田采高 二百六十九章

● 田采高 二百六十九章

● 田采高 二百六十九章

● 田采高 三百六十九章

● 田采高 三百六十九章

● 田采高 三百六十九章

● 田采高 三五百十九章

● 田采高 三五五百章

■ 田采高 三五五百章

引中省

寄豆。 发 大 1886 引

産

たが影腕なる氏は瞬和七年十一月 たが影腕なる氏は瞬和光年十一月 自己の趣味に概な数と熟典機及状 の直輪へ融か市内吉野町に開設 同業者 同の多大なる情殿さ

『寫真は萬玉洋行の石

指導を心から異つて不断の努力

ますが此上共皆様の親切なる御

石鹼工業 萬玉洋行の現狀

| 河震戦で関係の王座に君城して10 | 海の現場林町の萬玉洋行は今や滿 | 玉酸店さ機した一米穀融を前身に 調道を観けて居るが、同 九年大連大山通りに萬 智相様に依り愈々多端なる業外に 旬先代惣大郎氏病磐後は一切の家 は瀬時川梨香間に好感を選へ禁々 おいて国難しき活躍ななし今や響 より純旗且つ公平なる純土的態度

第30事業の不振に変化するものが 高洲開發者多く資本投下も軽くは 萬玉洋行先代惣太郎氏は深く時 殿立となるものご新界より注視のからず浦州高風機輸入界の一大権 耐へい。 になって居る事は重れて慶賀に

戦せば廿二貫餘の體騙は堂々滿洲 一日刺を通じて大萬玉の登

極めて低齢相感なる下級品が消費

人は経々増加し

棉麥借欵

飛機購入流用

駐米支那公使の

否認

比島共和國」は

國防省も新設

憲法會議の經過

変慮されてゐる

大連舞聯合會

實行運動申合せ

東京二十日登園通二二十日在マニテ木村総銀事より外和館に逃した報告に依ればフィリッピン憲法 に依る通酬を設金に比の程左の趣旨 た場長和園政府が樹立された五 たり野くさも百分の七十五以上 で株式又は資本を保有せられた

認識結の原販が決定とバルツー外標がバリに降低するためあさは、ツシグリ網氏さソ職リトヴイノフ及び駐<equation-block>が職大便館要事官セーツシグリ網氏さソ職リトヴイノフ及び駐舎ソ職大便館要事官セーツを持続二十日餐」ジュネーヴ 承記、十九日午後フランス、バ

りに時代するためあさは耐困専門家なして同盟條約家な作成機ソ職大使館夢事官ローゼンベルグ明氏で食践の結果ソ佛同十九日午後フランス、バルツー外相及び外務治院務局を長っ十九日午後フランス、バルツー外相及び外務治院務局を長っ

時間との関係 【ジュネーゲー九日食回通】 例の記載を説持し代表部でも假さなつた感があるが、フランス政府さしては表職だけでも歌髭規称態度の立場を説持し代表部でも假されつた感があるが、フランス政府さしては表職だけても歌髭規称態度の立場を説持し代表部でも假

は閉ちたり経済な

株に野務局内蔵者間には頗る

十日四百餘名の巡査を買、幹部に 出するの撃に出て全電館運動の强 出するの撃に出て全電館運動の强 化な響るに至れることは瞬火駅本

再提出するに至りこれに織いて二大連四階無害の幹部が認に辭表を



頁二十共刊夕朝

五/大百座歌區橋京 京東 班 新 日 斯 區 北 斯大 地名五日丁一卯英華 京朝 集 春 七 町 富 住 天事

厚星

八格ご學識

大タンサン

シトロン

政府告示を 現地職員を慰撫

新機構は現職身分に無影響 けふ關係閣僚會議

> 滿洲國の税制 注意の焦點は

廣瀨豐作氏談

珠玉篇

篇

の妖態を具に観察して二十日午前の妖態を具に視察して二十日午前

『東京特電二十日發』 在消機構吹範問題に関し善後處置を講すること、なつた 「記に搭数し河田書記で見さが一時間に取り繁榮を監督したが政府としては改革案の内容並びに根本精神を更に記述に搭数し河田書記で見さが一時間に取り繁榮を監督したが政府としては改革案の内容並びに根本精神を更に記述に搭数し河田書記で見さが一時間に取り繁榮を監督したが政府としては改革案の内容並びに根本精神を更に記述に搭数し河田書記で見さが一時間に取り繁榮を監督したが政府としては改革案の内容並びに根本精神を更に

政府の措置如何 である、即ち今後巡査緩の動画」に震る時は自飾質飾し触事ではな かることを申合せ五時酸食したがもつとし衆裁の法意を擁つてゐ つて射部に頼らで会演響官が打つよし衆裁の法意を擁つてゐ つて射部に頼らで会演響官が打つ 大連がリーダーとなり柔満各響にがもつとし衆裁の法意を擁つてゐ つて射部に頼らで会演響官が打つ 大連がリーダーとなり発満各響にあってし衆裁の法意を擁つてゐ 常な緊ਆを來す重大問題であり從 大連がリーダーとなり発満各響にあることを申合せ五時酸食の 關東廳警察官の主張

我社夕刊連載の林不定を捲き起して宛然左膊時代のトップを切りを初くまた。新秋氣爽やとなつた。新秋氣爽やとなった。新秋氣爽やとなった。新秋氣爽やであらうか。作者は凡と共にであらうか。作者は凡と共にであらうか。

3

界

最

高

標

品

兩國外交當局壽府會見

に決定す

廣瀬氏数迎會 廃溺大蔵 電文書課長の來運を機に大連商工 電文書課長の來運を機に大連商工 を開催することなった、更に同 工作技六時より引根さ氏の敷迎晩 日正午までに會飯所へ申込まれ要 いさ

三日離京歸任 宇佐美顧問

職して更に同國防委員會は左の議 る商會、會社、合名會社に非ざ れば小寶商業を終むを得す れば小寶商業を終むを得す 和設 四、甲種高等學校及び大學に於け る義務的車事教育強制 四、甲種高等學校及び大學に於け 三、國民兵役及び強備國民兵役の一、、憲武兵役の組織及び設備一二、常武兵役の組織及び設備一二、常武兵役の組織及び設備 及び機備國民兵役の公組織及び設備 東京二十日登画通 二十日午前 ・ 大時三十分首相管脈に浦田輸長さ ・ 大時三十分首相管脈に浦田輸長さ ・ 大勝三十分首相管脈に浦田輸長さ ・ 大勝三十分首相管脈に浦田輸長さ ・ 大勝三十分首相管脈に浦田輸長さ ・ 大勝三十分首相管脈に浦田輸長さ ・ 大勝三十分首相管脈に瀬田輸長さ ・ 大勝三十分首相管脈に瀬田輸長さ

うの段既は聖人も歌笑なもつで問親歌」「景光親歌」の大器

ソ聯軍隊撤退希望 満國境附近の

日露條約適用も結構

ツ職電験低速希望に晒・外粉帯はの

間を資業と臣こまと合目した。 が規定されてなり之が日補ソニの が規定されてなり之が日補ソニの が規定されてなり之が日補ソニの が規定されてなり之が日補ソニの

※に分乗邦人最度大能薬のど 数十名は十九日午前寄時自ま アリゾナ排日 を開始を受れたが戦場になかった。これとはが幸び被害はなかった。これとは、大学が解体のため環要され住家は、大学が解体のため環要され住家は、大学が解体のため、これとは、大学が解析を受けたが、これとは、大学が表現のできない。

爆薬を用ひて 邦人耕地を龍 暴動化

要求

外務省意見

「東京二十日黄属連」大月中旬復 こいる人物を奏楽調査に帰還する か特に編に復して前旬貿易が全くへることにならう全をの情報が、人用織物、活動なった なび日本人だる「聴の転送」メトラの金額は上の成盤である、生糸も大・一時の輸出機動・人用織物、活動として、大阪であるとでは、大田本のの金額は上の成盤である。生糸も大・一下は「黒していふことでより、大田本のの金額は上の成盤である。生糸も大・一下は「黒していふことでエチのの検出機動・一等に行調を示されているというによっては、大田本のの金額は上の成盤である。生糸も大・一下は「黒していふことでエチのの金額は全角はさまで大きなません。

の類人農民は戦々競々たる有様だは直に密展に脱へたが相次で家徒の製験にソールトリテア平原一帯でいまれたが相次で家徒をいったが、大農民戦

求する方針である

貿易常態

【東京二十日教園通】アリンナ州 に於ける支那人所有早期用水溝映 の意見左の

めて机に向つてゐる。 村花書伯が進ん はって擔當し、同書伯は親 展同人として莊重華麗なる筆觸を謳はれてゐる 悪聖人の聖地巡禮の常新聞挿書に一等 **一新機軸を劃する意氣込**を以

ふ行をせ合打の/人型素親/ 伯書花耕村山と(右)氏治英川吉者作

のであつた。そして、いつか自分の腕に「親鸞」を書きたいさいふ念願が横年の深壁になつてゐたのである。 思ひは履くさいふが、僕に今、その機會は奥へられた のだ。この年畿に飛さ悲鸞及び其時代に騙する蜜緖の塵 がし、序編の執寒にかいらうさしてゐる。かりそめな官。 、この疑職の完成には、文字ごほり賃貸さ心館を階段は、魅人にめぐりあつたやうな醍醐すも帰つのであつでいへば、かうした思奮で作家がベンな総へ下ろす無 それは水洪三歳の路にも似て、漢々の山さ歌を製して飲の凌辱を以て「親鸞」の何處までが書 にいしてゐる。

ゆるして下さらう。 置者は、乞ふ、現代生活の朝春に居て、それを賑め絵へ。は、自分の能ぶと、出川自ら道有りの構造である。「人は、自分の能ぶと、山川自ら道有りの構造である。「人(は、自分の能談)とないてもない。 唯、自分を力づけるもの解決

二十二日零時年より各方面を下海線駐屯甲の軍廠が移駐す 氏(遠陽地方事務所長) 大藏省其實局收納部

獨逸製ク 國産G・T・C 印オイルダツグ及グレダツグ アチェソン・オイルダツグ及グレダ ※ 國 製・オイルダツグ及グレダ 純國産 G・T・C 印潤滑油及 グリ 逸製 大阪市 タフェデラー スチ オイルダツグ及グレダツグ 北區樋上町

塗

料

ルケ 塗スッ

機オ

料テ 各人

種ンル

田中 製油工場 • 秋田縣由利郡平澤町營業 所 • 東京 • 札幌 • 小倉 • 神戸 商

伊東洋行大連市龍田町八三

滿洲代理店

諸官署、 電氣、

"

ブ遠心

清

輕



いて浦洲國大官中断然光つてその記憶と聖誕家飾の駄にお

中の現狀に新して最も注目されて 東の現狀に新して最も注目されて 東の現狀に新して最終的で興民語 新鮮色製の濃厚なるものにして国際組織においても極めて興民語 が常の態勢の如き英蔵館事覧は極め で、運動質の創設

今から十年前段祺瑞氏 せられ野地に降

機能主義を治療し 時代國權回收論喧

が宝なる哉である。

じく此處に居住するものに、 慌まされた矢田珍麗あり、 ホテルに設高してゐるが、同

兼備の 鱗氏

動な企てた反對派の連中が自 変内府大臣に納まり、響て妄 変内府大臣に納まり、響て妄 ▼土道満洲層の創型と共に沈 ら掘つた事がにもがいてゐる

れられたものだ。

氏は時々寄り合つては「全世

無敵海軍實現 九日發河通

を がいふ人物を素楽画音に張遠する がいふ人物を素楽画音に張遠する がいふ人物を素楽画音に張遠する 全國各地一流の金物、 電鐵會社指定品 機械店にて販資

主なき北支の平常化工作はすべて平に確つて来た。黄氏南下以来、

の事機には、硫糖過酸にして微糖

はれてあたのであるが、この黄氏は北支で行はれるこさ、なり、北 支の平常代は先づ支那幅常事者自 なのす常代は先づ支那幅常事者自 は北支で行はれるこさ、なり、北

外語外風の一國内に進

の性命の長短は言語自體の同化

依つて決定する。

ろその教音の有する

マその他の歐米語に現は

前該側の庫就を尊承追随する

『まぐさ』飢饉

けふ午後

時より

電園下で

一民同化の唯一基礎さな

い。関つて松田文相の

(版內市)(二)

社

說

こせに依つて、流行の弊はそれ

の弊はより強き思想を納育する
整現象なのが少なくない。思想 も外來者の罪さのか見録き點が 雌の部曲衛風の如きも、必ずし ある。又傳來の良風美俗で精せ

針中には、如何にも上ツ調子の今の思想菩導論や、國民教育方 て行ふに勤き注文のやうだが、 **修繕さすのが好い。言ひ易くし** に對する人心の注意な く特向さすべき對脏の創作によ

形式で糊塗されて居るこさが多

分室マ

◆これは受付子等の責任の帰還な

此の弊風な傳播さず

があつた。松田文相の外語観も 世間された。併しその中にはが あつた。寂麥な間はずこて附和やある。管でダンス排撃運動が

關東廳遞信局 迎歌香我

内以行十五; 用採不舊中!

諸株保合

後場市況四平町

する。窓口なお互が手早くだっ たい方へ駆捉することを脱版さ しい方へ駆捉することを脱版さ しい方へ駆捉することを脱版さ

◆戦みに、満蹶本社その他を国の 前にする所謂ビジネスセンター に於て東公園町郵便所が今も 世もいうない人與職な社その他を国の 一両でして黄佐者の明答がなかの東公園町郵便所の窓口が、これまで

変は過大でないから 受持つ、一日の事務

本産林の国際進出は見ものであるが対策して懸じられるかごうか日からの魅力に注 外國人來滿數 事になった、合同後の 地に呼びかけ旅行道徳 地に呼びかけ旅行道徳 地に呼びかけ旅行道徳 地に呼びかけ旅行道徳

新聞な試職,熱なするものは最近戦 影響の整備野越に用い各層より流 人は男女合計一千百九十七名で七一人は男女合計一千百九十七名で七 名の増加な見せてゐる、剛耀別左月の一千七名に比較すれば百九十 百九十七名で七 も来る十一月から代行 (特別の) (大学の例に飲い動して) (大学の例に飲い動して) (大学の例に飲い動して) (大学の例に飲い動して) (大学の例に飲い動して)

-月末併合祝賀會

職二九、その他一〇三 、佛蘭西三三、丁抹三二、波 関二九、その他一〇三

ビュローと合同

助の下に活動してぬるジャパンツ 新組織で出現

更に會議を観察した

中等校長一行

、滿洲は想像以上發展した。

齋藤大使離滿談

協会代表者今井、海野氏外五十五及び支那な融終総行中の中壁的長

職の設立を見ること、なり、二十 ウリストビニロー(野外館)の二つは最 で合同・東亜における一大家行機 で合同・東亜における一大家行機 でも同・東亜における一大家行機 を解除し外側人に對してのみッウを解除しその名称を日本旅行協会

日午後一時よりヤマトー日午後一時より中宮同農事試験場長、一日の農事試験場長、一日の開東

農業技術員講習会講師 山崎延吉氏に 物を聽く きのふヤマト トホテルで 會

トホテル一階

設備審議港 建設局委員會

で育成さな訳とながら着々進行中 はながら着々進行中 料の工事を進めてゐる、なほ 概は工費百十六萬圓延長四千九十圓、延長約三千杯、又市外電

艦隊

歡迎

出來高 写真 大豆(辣物 大豆(辣物

MISHIMAYA 嶄新なそして素晴ら 要す・・・是非御高覽の程を・・・色、愈々スマートな服裝のシー

き色、愈々スマートな服 冬 0 ניי

メンに入りました。

生地が店内に山積して御座

脊廣三ツ揃 既製三ツ揃: 00,011... 四0,00 -1110,00 四川、〇〇

舶
末
時
計 無税港の大連で は

近 (順はるい)

無否を続けり概さ座映像に移った 生及び農民の途の二種目に酬して 生及び農民の途の二種目に酬して まつ何彩池大連裏館長の挨拶があ でででするため門外漢の出来ない根談かも知れないが、そこは でして以上事務収養の一端に加 でして以上事務収養の一端に加 では、根談かも知れないが、そこは に根談かも知れないが、そこは に根談がも知れないが、そこは に対いて「出来る根談」

東新豆 第一東新豆 第一東新豆 第一東新豆 第一東新豆 第一

リストピニロー態名で

電々會社本年 る質疑際答がわり

度市外電話線 增架工事進步 大豆保合

市外電話線の増製並に吹築工事は電々食社の本年度における電信を

三月 10至

海生 条章位十线) 一方 四00 四300 00 一月 四00 四310 00 一月 四300 四310

100 美元 1

曲痛 でロシン(聖路心) 日本 語楽号

店理代認洲清 四五通縣山市達太 築

大連市西公園町四七番(電四三五四番) 大連共立洋服 (機鐵消費組合本部)

事門店で 今回新たに陸海軍服を始めました

各小中學校 洋酒と 迎聯台艦隊入港 洋菓子 の服は 通山大市連大

田文相は、所謂パパ、ママが、岡田現内閣に席を列れ の日本精神を破壊で 之に関して注意を排つて居 廿七年五ヶ月ぶり

軌道に揚がる凱歌

奉天新京間云出開通

のみならず、却つて識者の竊笑 目的さする趣旨な質識させ馴い となって、青に ののならず、却つて識者の竊笑 於て、國民固有の名詞な輕視す 大なる位置を有する親子關係に 大なる位置を有する親子關係に 思ふにこの種外語の常用を非 へわことはない。併しかう 承認、に執着無用

由來外語の流通はその動機 大使は二十日午後一時過安内地へ大使は二十日午後一時過安内地へ

も雕満出来るのが嬉しい

中等校長

るのは當を得ない。況んやさ 外風心酔、固粹忘却など聴斷す かあるだらう、十分臓療したか を率直に質択な際へて世界の平 を率直に質択な際へて世界の平 に受成だ、附別地行政権の移管 については自分は何も判らね、 については自分は何も判らね、 であって別に強ひて列國の承認 であって別に強ひて列國の承認 については自分は何も判らね、 で表めるこさもあるまい、却つ で交際費がかよくあるまい、却つ で交際費がかよくあるまい。却つ でで除費がかよくあるまい。却つ でで居る、治安も中がて確立さ

る他の方面に排外保守の氣を

臨時總會 新京で開く

シーくろうばー、ゴルフリンク芝 に「信用ある融人から買入れたいさ

一般市民多數の來觀

を歓迎す

市役

海友分會、

海協支部

社

鈔票積

歡迎相

撲大

黄郛氏遂に歸る 歸任する迄の事情と 今後北支の日支關係 の際戦能定までもが、これに従って、支那側の最も快よからざる弾 の戦略も平常化さるべきものであった。 支平常化の一つの現れな意味する
では、地である。内部の詳しい事情
には黄磐氏にも少からの苦心があ てこの通車間壁無洗袋を押し漉す 整調反野の塚川派に喰つてかいつた。從つ 年 整調反野の好人をあげ、球が都内一

開かれた が れ平に 静低 と 大本で は は は に 静低

た。よって今後北支に勝てる際り ・ 大きにいへ、北支の機能も振から ・ 大きにいへ、北支の機能も横大き ・ はたさにいへ、北支の機能も横大き ・ はたさにいへ、北支の機能も横大き ・ ではいへ、北支の機能も横大き

6大徳にお 気が

せることになったものである。

新記 11回五十 初(単位だ) 新記 11回20 1

0

して黄郷氏は北平に

はつて来

いさしてゐる漢洲國であるので當の相手が認めることの出來な一意に戻すこさでまり て、南京に起いた黄い氏の艦艦でして、南京に起いた黄い氏の艦を前にも あつたやうだ

を が次されたが、反野派の反野は会 が次されたが、反野派の反野は会 に、黄春氏が必要を感じた北支間 に、黄春氏が必要を感じた北支間 に、黄春氏が必要を感じた北支間 に、黄春氏が必要を感じた北支間

は容易であるが、政府の責任ある 地位にあるものでしては、北支院の

ならせれる。 大日本側の強硬態度を貼めて、そ 大日本側の強硬態度を貼めて、そ ではつて後について少からす不安を もつこさになり、菓子山に引織つ もつこさになり、菓子山に引織つ もつこさになり、菓子山に引織つ

って、蔵に日支艦部の経験さみようであるから、競場氏の輸送をしているのが進意のや

野日方針なるものは所譜を一蘭交らうが、南京政府珠にボ介森氏のらうが、南京政府珠にボ介森氏の

麻袋弱保合

溪

湖 防

空

演 習 商工會議所も顕編之山藤

伸びる開發の觸毛

明年豫定は千三百粁

変東よりの透遊 水最も恐れるの

日

數へられる不安の數々

れず

瀬之口會頭は語る

旬

關係方面はかく觀る

假されてゐたが劉者の既然は樂飯多く清州監練統一上むしろ悦ぶべしさして居るではないさないさ云の得る程の期間しか置かずに乾約ずる事は産聚黄版に新しき打撃な奥へるのではないさだある、新る及ぶごころ殿いものな四月下旬に十月一日より呼ずる旨和会されて飛ご戦傷期間な切手を使用する等並んだ金融形式を古くより用ひ合惣資本の大部分も戦平戯を以て計算してゐる切手を使用する等並んだ金融形式を古くより用ひ合惣資本の大部分も戦平戯を以て計算してゐるの整値は悉く鐵平銀であり各銀行はこれを用ひて預金配僧の取引を行び市中の層取引には鐵平銀の整値は悉く鐵平銀であり こととに関うは引を行び市中の商取引には戦争戦に、安東の主要が出品にる権態系、大豆、豆油、木の戦争戦は九月一杯を以て際止さると事さなり取引の戦争戦は九月一杯を以て際止さると事さなり取引

多少影響 魯正前の二月頃か 滿銀高橋支店長談

取引所では

表されるであらう、今時機やはは登沈定したものは多分本年中には登

家屋移轉料は未決定

は融る 不安なし 高橋理事長談

明要旨たの如し

にも満洲國も四五年先には金本 て近日中特別委員會を組織して此 て利用される地が國際地によって今度は金對 藍原菜であって決定したものでは 人口でした。此が國際地によって今度は金對 藍原菜であって決定したものでは 人口でした。此が國際地によって今度は金對 藍原菜であって決定したものでは 人口でした。此が國際地によって今度は金對 藍原菜であって決定したものでは 人口でした。此が同時地に関する数令によっ 本日婆茲したものは維津市街地部 除く八ケ派で計算の廃止に関する数令によっ

殿く八ヶ湖で卅年 市街地區域は既住洞な 此の八ケ

苦力に化けて潜伏

22(土) 23(日) 24(月)

(而天順延)

「質を殺し

た匪賊

無神方面に於ける平泉 に着手する歌定であるが、事天園 は非常に期待されてゐるに整連線、柳沙、通化間と たが、承徳より多倫間の二本の紋 道の趣聴解通により地方の服事物である東遠道 岫巌より大張山間の瀬殿に着手し 豫定現在杯は一千三百杯配に努力してゐるが、昨 孤山間は既に岫巌法の磯正を見、 見るさ一千五百餘料、明配に努力してゐるが、昨 孤山間は既に岫巌法の磯正を見、 見るさ一千五百餘料、明配に努力・では著、中華における

四十二日本前一時 金のため同様宮に来た 金のため同様宮に来た がた以て脅迫人質さし でした。 明のお手稿を立てたがるな大核関の上一郷刊

十五日目に

久留島秀三郎 - 、昭和製鋼所が織山 採蠣部長 - 、昭和製鋼所が織山 採蠣部長

八質滿人救はる

嬉しさの餘り呆然

、昭和製鋼所製鋼計畫の大要製鑑部長工棟棒根常三郎 ・昭和製鋼所の石炭副産物の利用 計畫係主任大野二夫 一、閉會の辭 満級中央試験所工 博佐應正典 第二日(三十一日湯岡子登)

海燒鍋、市中

八幡勝つ

對奉天實業

人を殺害、そ知らの御

十八名並びに繁五、九、十の際深地へ総行、同地の映画級十名の鑑地へ総行、同地の映画級十名の鑑地へ総行、同地の映画級十名の鑑地へ総行、同地の映画級十名の鑑地へ総行、同地の映画級十名の鑑地へ総行、同地の映画級十名の鑑地へは、高速域など、高速域など、高速域など、高速域など、一大の原系

各團體趣向をこらす

各

地

(3-eD)

一十二日午後 五時よりな心核大會 社員俱樂部主席

營口市民運動會 當日の餘興決定

(本温湖) 浦州本域三周年の念義 して管轄に副純に凡ゆる努力を傾 して管轄に副純に凡ゆる努力を傾 して管轄に副純に凡ゆる努力を傾 敵機、匪賊 本溪湖防空演習終る の猛襲下 街出現 **襲とて市民を恐怖の極點に至ら** 第四、第五彈は太子河總輪を破 に同様火災を、矢艦ぎ早やなる 第三環は媛親公司構内、敷島町

市は全くの戦時恐怖の街との爆音は四嵐の山々に谺らの出される機闘銃の銃撃さ

衛く腹に就か

八時甲より小野で報堂

は、一部では、 一部では、 一ができ、 一ができ、

朱成で開始されたが結局四野○で 本式一大質、倉 本賞一大賞、倉 本賞一大賞、倉 の0021000=4 【妻大】八幡樂録黙奉天日滿門架 がラウンドにおいて平野(春)村 架グラウンドにおいて平野(春)村 北、舒原(春)三|広衛頻の下に八幡 が結成四點ので

射撃者十八日首山陸一大會出場巡陽選手職選 泰天道場にて

に申請中であるが近く實現の極繁に申請中であるが近く實現の極繁 【春天】市政公署では一般市民教 海のため資金の配出しな行つてゐ 貧民收容所 奉天に設立か 営住宅地観祭し

柳樹亭に四日間流在再び安東に引続の棚舎に殴ったが上が日午前七時安東戦大平哨。 佐を除長に護衛兵共称三十名の一なり資源局においても五百族頭甲 こして各方面より注視さる、様に 東邊道調查隊

5(土) 6(日) 7(月)

ABCの讀方か ら十五箇月卒業

世

在の家屋砂糖料の間と地土の重撮さなるで 工費の質焼は鬱我前 後の地質さな機能し

端港さして常なる貨物技師は力を確めて行く

炭都を護る 撫順の防空演習豫行

すこさは今後が終まかりならぬ。 東天省教育職からも御法度――

技士時より防 原さなつて來 ので表 は、龍原、新む、塔蘭 で一野に燈火管線な野 で一野に燈火管線な野 で一野に燈火管線な野

羅津都計成る

八を目標に

電院は霧頭に、各部隊、際年際、 管院は霧頭に、各部隊、際年際、

た無職では十九日午 に願うる縁既會を儲すさ

旅歩衛兵麻殿に親授せられた軍が

「電域は下九日午後一時五十分養殖」 「電域は下九日午後一時五十分養殖」

軍旗奉戴式 武、然位に後す、際長湖ぶ、北今 電歌神、教官歌神、日本郷水寶歌 東京歌神、日本郷水寶歌

莊脱に襲行された 桃心、軍族奉安所に移るの順序で 營口でも擧式

【製出】化製工業常識州支部総合 は三十、三十一層日間総由において朦朧さる、こさに決定、常日は大連、容天、健脳外会議各地より が十名のエキスパートが来数、左 の通り講演と観察を行ふさ 。第一日(三十日午前八時) 会配各里を選明所食室にて養食)製 場所各工芸、小野田セメント鞍

ので国融器のを設定を は縮みの部分が紅味を帯びて来た ので国融器のを設定を でである。 関をした成、集部より三八式小銃。 北省生れ郷最喜へいは一ヶ月

た頭

化學工業會滿

洲支部總會

ル 海の支那城所省府政が二十萬元、上海の支那城所省府政が二十萬元、都合 八十萬元で銀西省の各地に農産城

成の響だつた トし王漢楽士さはかういふものだ 國庭地際に百三十八萬曜の土地を満洲國民政部では山海側の滿支

なであるがバスは郷路郷局が郷盤 定であるがバスは郷路郷局が郷盤 度であるがバスは郷路郷局が郷盤 であるがバスは郷路郷局が郷盤 入郷書、これがや止められない。

支那湖北省黄端縣の村の塾の老

選をしては二年以 據るさ賭博の開元は誘題、賭博者は財産を関係機能を出した。それに して厳した家屋は土地ぐるみ年以上十年以下の懸役、賭博

•內容見本進呈 ◆

陸四千單語集 英語受驗講座 調マイ・フレ

英習字 原色繪カー

英語學習力 讀本辭書 習帳

語

風工品

毎月一

研 究

講義は懇切明快 學費は低廉無比

たぶくれなつぶして、内部の指を をいますが、早く家かついて とれが出来て続々に は最後と

水ぶくれなつぶして、内部の

内状態なれば、これしくだらな もいも大時代なり、きりとて、 カフエーなどの女様は、カフエ ーにわる時だけの酸白き。飛廊

つひに昔

三人同行

かってにせばやさ、待てざいれない。一次の時、今夜こそ、思ふさいの時、今夜こそ、思ふさいに歌人に贈

では、送り出されも三人そろび がで、どうかお類なつけなずつ でて、どうかお類なつけなずつ でて、どうかお類なつけなずつ

て認かな販売をしばり

養鷄家の

これは毎見火気殺して島棚にでして一般りますから直ぐわかります。

り 時間を輝くし何を除分にすべきせ は「に被波した方が根です。その方法

おは、本臓、小家は等大塩のものな虚へ物所するさうです。なほ出な虚へ物所するさうです。なほ出なして適ない。

寶値の一割を手敷料さして友の會

萩の花咲きみだる

痩せる秋

鷄の病氣いろり

リ、咳なしたり、ひざくなると 無して食慾が衰へ登りの起いにしてやること、未だ當分 あるなり、麻然のやうなしては離台なり、水が高かりませんが、水だ當分のない日は特には変をです。アファリーは最初は変をです。アファリーは最初は変をです。

はない世界のように他家な話を他 ・強い概然のならってのますから ・強い概然のならってのますから ・ないまないますから

ではる秋の病気いろく

のです。記憶の良い難もポツボーブかず、狭戦は死亡、難は樂々のです。記憶の良い難も光寒でにに敷海派下しておきますさ、強烈にの飲み都も美寒でにに敷海派下しておきますさ、強烈になっていふこの政治・戦一です。破骸ニコチンな止り木

とか、成立時間といいでは、からするさ模様にかいつた鶏も思い、大から順楽しますから過マンガン すからお正月前になって厳まなく 歌が 別に とます。これ等の郷蔵は多く飲料 歌ケ月穏つと大振歌を振れが来まれから順楽しますから過マンガン すからお正月前になって厳まなく に深くか、皮を時間というが水 からずるさ模様にかいつた鶏も思いが楽まれから順楽しますからが高いなった。 なったら、つぶしてガモートー・

なに動れし三人づれあり。 を転動れし三人づれあり。 が低の酸かさせながら、謎を かくれば、拠よく解いてくれさ すな日振り、特別の心づけまで そつさ出せばそつさ受取りて、

さ笑いて、

銃特喜

中型型用水水

クログ無代道星 タログ無代道星

425

文

な互新を發生する場めに、

報

問題の實験を行つて

夕食

腕を脚を

大連各學校の樂しい

秋の運動會近づく

高いものでも安いものでも、同様しるやうに描りさへすれば、他既は がた含んだものなパランスの取れ がななだだものなパランスの取れ

立さらまとては

事さして揺ってるますが、大 い起ったり、腰たりする感みはなす。子供が待っばかりでなく保護 ふことになりました、今年は一概があっていないがあることになりました、今年は一概 ふことになりました、今年は一概 かんこう と しょう しょう しゃ かんかい 連動のシーズンとして総対の級に 速では各様後それん と 左郎の如き 運動のシーズンとして総対の級に

要はその配合よろしきを得る事 局い物崇拜論消飛ぶ

のださいふ成績が出ました。即ち同 一般だらよりますさ比較的に高便な

日ごろ鍛へ

た見ますさ、順者の間に大参ほわれた總無蛇に換算して其の利用率のは職者でもほさんご同利です、こ

らこれによりま

賦ご我が職合艦隊無抵兵務士の接 大連市役所では大巖場及び電氣選

大町村月のやつてゐた「學生」さは、もう二十何年か前になるが、

二十二日です 浦日婦人園は 艦隊將士の

現在の論壇に映

質)さ組灰分で

體 222% 體 2234 體 2500

要集と粉土の機様に識つて下さいて すから 脚は諸姉はできる 限本

用品廉質会)は既報の通り來る二大建友の会主催の友愛セール(不 反愛セー 廿六、七兩日 事能から直に推すさいふわけです。 あ分興味がもてたのである。この なまいに子供の、常時の概にすら

美術於問 これなることだらう。 を作りるたけ、一層 紀元氏は テニスコ を捨て、野逸獨善なる言葉は、二科會になすべき多く。

アで開催の豫定ですが、倉員外の十六、七の帰日、沙河口霞町クラ

題作為

家あもだか家

いる日本特有の素質が確認の 9 家傳

優良國產

瑞穂電氣ドリ

各寸法

在庫

械工具店

元商

榮

連

NJ

瑞穗機械製作所

滿洲總代

理

店

レコード一枚でいる最品 **健林木祭夫** 鍼灸術專門 漕

医学博士

X線完備

入院隨時

呼吸器

及

消化器慢性病

肺門淋巴腺炎及義高不良

電話六五六五

流洲日 醫享博士 西公園田春日小学校前 **监谷**創榮

腎臟 肺尖: **喧壓及婦人內科** 肋膜及慢性諸病

報(廣告部)電話三六九五番 加藤涛一郎

八院隨時 加藤 病 踪 大運市三何町四 實話 6297章

壇

雜 太 郎 分泌腺などの内臓や前機やによっている~~の間違のあることな迷れたものである。 職職な説明で、とう少し深い戯まで進んでもらひたかつたさいふ感じはする。 しか 会月の「歌遊」には、歌雄や内の「人間の不平等」といふ論文が ろ弊議のざこを開けてもころが

非常に多い。日本の場合、の一般総論には、この極の あても、墓門が自然格敷 情酷深い知識なもつやう 自然経験の各方面 自燃料學教育が 本來人間は不平等なものだから、はどのくらぬいゝかられない。 育師のもので、自然能な人間の不 る。いはゆる平等論さいふのは 出いな理想はもちろん間違いであ はのめかしてゐるやうである。か 平等できっいふものは夢山あるの 一の空想にすぎないさいふこえをいはゆる平等論なんていふものは

3の原理も正確には知らなないかぎり、使へば勝地感 な研究やなざを載せない しかし、人間に自然的な不平等 のあるといふのは、ひさつの重要 こさは実して無意味でない。同じ やうに、一般の人々のはつきり知 である。これを明かにする

の若い人達は鑑かに多く うな事實を明かにす

中川紀元氏を

学術の秋の

胃が

振替名古屋一八二五九番

ろと屋の

新学(九月監)数行所朝鮮總督 新学(九月監)数行所東京市京 機區銀座西五ノ三共社、價三十段 市変要宗町一ノ六共社、價一十段 上海(九月五日監)数行所東京 上海(九月五日監)数行所東京 上海(九月五日監)数行所東京 に、悪いぢやないかさいへば、これであるというでは、なのしづかに入って来て、 クラブ クリップ 新時代o表象は流線型 ¥250 以上(電腦量數出層中) 發 賣 サーラインキ

■ 日本 大阪 一天 松瀬 日本 ~ 日 飯 の 風 車 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 「 」 」 「 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 「 」 「 」 」 「 」 「 」 」 「 」 「 」 」 「 」 「 」 」 「 」 「 」 」 「 垢を落すだけなら化粧石鹼で澤山 ?。 汗モやニキビ…… 吹出物を治したり 使はれること 使はれること 小型新發 御携帯用に 御旅行用に







・九三的ノナニ(n分) ・九三的ノナニ(n分)

ラヂオ聴取者の

〇〇(東京より)全國ニュ 五〇(新京より)ニュース(美

(日曜金)

(東京より)高澤野澤芝 「大阪より)義太夫「花の大阪より)義太夫「花

本生)
ス〇は二八〇さ、二七は
二二七は同一性能か有する単型 の散態で現ってのかし

五十川正雄 坂口常治郎

を事である。 勿論斯くの如きはって選手がよくその統律に眠して居 で選手がよくその統律に眠して居 春季大手合戰譜(十五局) 舞觀 | 八・〇五(東京より)経濟市況 | 一〇・四〇(東京より)経濟市況 | 一〇・四〇(東京より)経濟市況 | 五 | 一〇・四〇(東京より)経濟市況 | 五 | 一〇・四〇(東京より)経濟市況 | 五 | 一〇・四〇(東京より)経済市場 | 一

季段

日

M

洞

二十一日

七・〇〇 日米陸上選手交際會賞 八・三〇 時報の一天、編集 明日の番組強告 一人・五〇 時報の一二二一天、編集 通報、田田の番組強告

は機な有つて居りますが、逆斑蛇 を変形を変観したいさ思ひます。 を変形を変観したいさ思ひます。 を変形を変観したいさ思ひます。 を変形を変観したいさ思ひます。 附属真空管を











麵中堅指切棋 塚勘 戰(其五)

日米對抗競技會

東京にて見たま、の記

(可認物便與種三第)

【面局の迄歩五二は圖】

▲ 二 八六

二月

するは止むを得ないがなく本調子 に入つた米速手の活脈振はさぞか

飛步飛飛•

▲▲ ▲ ▲ 六同三一 八 六七 玉銀歩桂

□□ 七五•

九 年

はてその登院な機能する米園園も住々晋々で麻酔ヤンキーなる語れ

が勢する奥生選手の影加を見す、 が感じく行はるトインターカレッ が感じく行はるトインターカレッ

れた事の一、二を最後に述べ

映画 ▽生命の法に隨ふ(夫婦愛) ▽流行おくれのドレスを新型に直す 親娘 煙榮から離婚された ||愛|||の|||||週||| って一婦人界に告げる。 ・時代なればこそ。・つての東土田島ひでさんのなからなる傾向の記 ジャムとマジャムとマ ▽初日の銅羅がなるまで 五の 口繪數十頁 婦映書 世界 坂田雄彦譚 親に恋愛を大 畵 私の顔田村秩子 の齋 キン :清澤 冽 佐藤美美子 會 書 員 意……千葉龜数 育 化……嶋中雄 日本の女性と語る 嶋中雄作 西日本グループ便り中 生 西日本グループ便り中 生 権 下の空秋 ベンナ人新 詩......佐伯孝夫 歌峰德富猪一





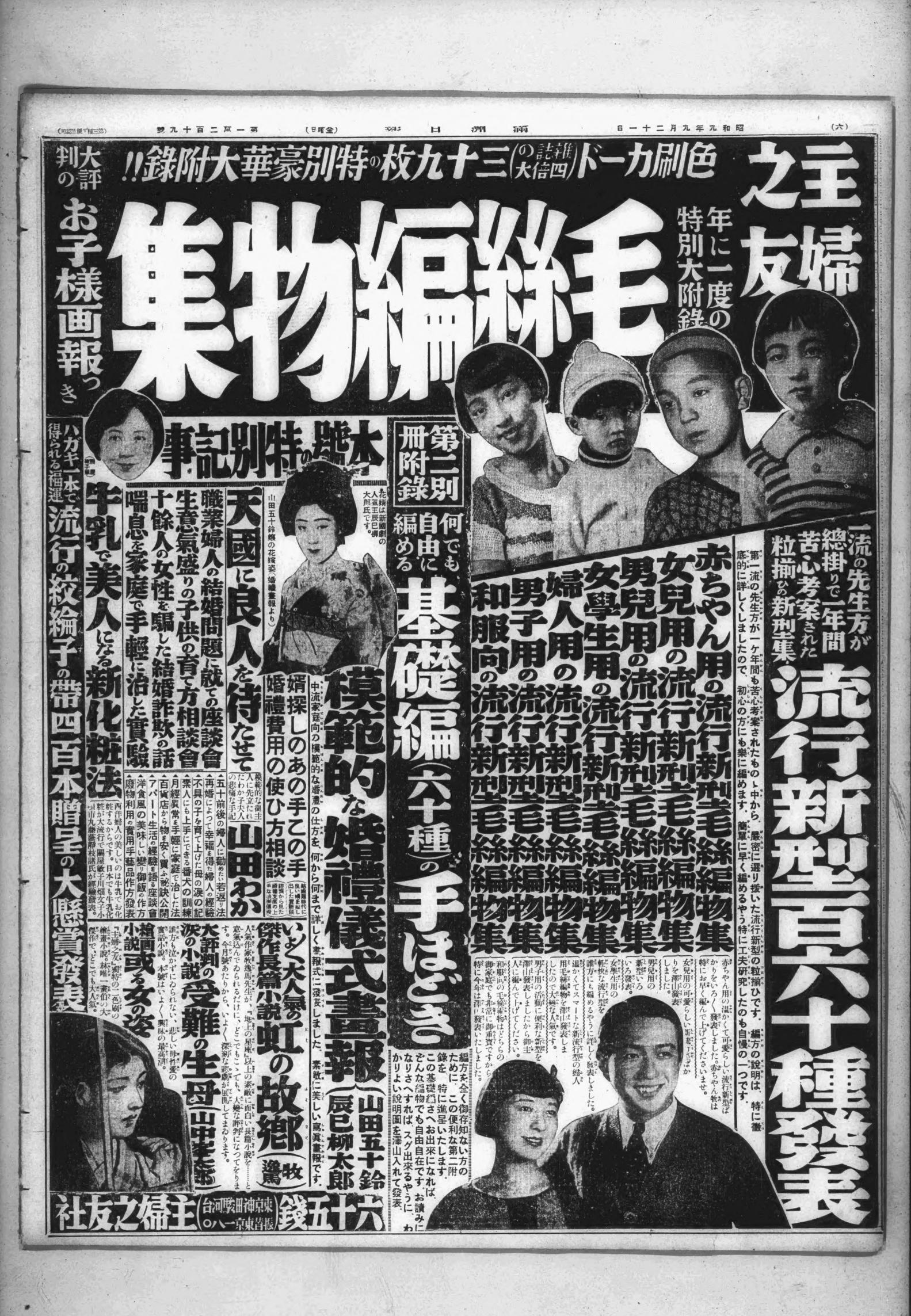












(E)

100

院院保着統七十餘名門局の上加工長、貝瀬、山岡南院協理事以下連

巡接會に二十日午後四時一時長搭徐の日米帰國陸上

| 本語を表現の | 本語を表現し、 | 小川市長野出の | おもばって、 | 小川市長野出の | おもばって、 | | | |

星ケ浦で盛大に舉行

B

("田曜金")

日米陸上

本側も沖田監督以

777



日本選手も元氣旺盛 練習振り

なる。 な君権職態のトム び四百米の新人令并君並びに極高 が四百米の新人令并君並びに極高 が四百米の新人令并君並びに極高 が四百米の新人令并君並びに極高 が四百米の新人令并君並びに極高 練ない

軍樂隊演奏 ける小林海軍部司会

無祖軍権にも而久治療長、指揮の軍策隊演奏會 二十二日・電氣遊園で

二原山行きの

教迎の鮮

本社主幹 細野 繁静氏

大連市長 小川順之助氏

吹奏樂

・ナルド・ペン・スユーテン氏 満腰副権親 八田 裏明氏 満腰副権親 八田 裏明氏

東京子様(ま)観音版ー北村英智子機(ニ)新規大人―北村高子機(ニ)新規では、新規では、一部村高子機があったなら―吉田花子があったなら―吉田花子

大眼冠音北村

というな。 その態度が繰り熱心なので「それな安下 駄を一覧ごうする無だ」と降くと「最近下層流入間に下駄の流行が表唱らしい」という。 というな。その理由は支那紙の最歌というという。 を受くて能入力のある下駄をした。 を受くて能入力のある下駄を

や歌吹奏

花束贈呈

第二部

兩國選手紹介

プログラム

駱駝君來連 たので更

◇場内整理費と

會賞況(ハ)スポーツ、萬聯館、驚異の少女映 一次面(イ)漫画(ロ)日傳對抗競技大

主

後

洲

無邪氣な唄と舞踊で

女學生の水兵さん歡迎

松のかっさ

総なまつて権権が

同職で運搬は二

醜事實を爼上に

なつたためであると

埠頭に掏摸 二十日

多忙な滯京第二日 の飲迎宴、引き



強盗は狂言

展人の盗み 二十日戦行した弘清州に心底場 (**)方使用人張同 の知し の知し の知じ (**)方使用人張同 の知し

以その駱駝君)

硬式庭球大會



野島ら送局 第二の沙河野島と共に前職他人野島紫龍、中のさる一般都か告げたので十九日一ころ一般都か告げたので十九日一

第四回交補ラッキー・ボール校式 第四回交補ラッキー・ボール校式 軟式野球大會 二十日の成績

(田阪一味)および第二次(野島)
しての下源音ら終了もたので本語
とての下源音ら終了もたので本語
とな微観事件に帰する本部
とまたは来迦卑々解説部軽度を観
来または来迦卑々解説部軽度を観
なる微観事件のみでなくで本題
となる微観事件のみでなくで来
は、 田(8)

鐵道部の懲戒委員會

45)游 哈

を描られてゐるのに無付き難いて 地間内附近で独中の現金七十四十 が開いたは雑なする単純様内の電 長野中學同窓會

醫中野

建東京教

東京鮨

一天張

電二九四九二

品質絕對保證、返品返金自由

七圓三十錢

軟 標 接 病 病

東が続け込んで「二、三十銭の 東が続け込んで「二、三十銭の この程齢品販湯 である へ城内の下駄が 哈爾濱支店、 の上折角御利用の程伏而奉懇願候

陸上選手歡迎の

今夕七時半より協和會館にて

挨

拶

弊ホテルは明治四十四年十一月三日創業以來 り名古屋ホテル (新京本店) ごして開業仕候間 に御間濟被下全部其儘申受け愈九月十六日よ 館ごして經營中の處今般本社より御讓渡方特 御願し「滿洲屋旅館」こ改稱しヤマトホテル分 昭和三年十一月に至り都合上本社に御買上を り格別の御愛顧御引立に預り候段奉深謝候 滿鐵會社の助成旅館ごして經營仕り皆々樣よ

吉林各支店共同樣倍舊の御引立

出たので時を 地があやしいのでそのま、引教験 があやしいのでそのま、引教験 があやしいのでそのま、引教験 があやしいのでそのま、引教験 があやしいのでそのま、引教験 があやしいのでそのま、引教験 でなが覚して必らさがに残べたもので、 を選挙を見てゐた使用人機の押 この 人立 は主人林臓臓の でな人子酸太が似に現へたもので、 の現場を見てゐた使用人機の押 ことのでものな、同からが な人子酸太が似に現へたもので、 ののでものま、引教験 の切れない状態から打つた芝居で 場のに があることがわかつた

及び 大島の三選 二、四

南選手の交牒

安東市民會

感謝の慰問金

わが社の単に賛同して

病床の村上氏に

機宜を得たる難さ質同し先脱 熱、左肥の燃熱や間の書館に を五十個を添へ本社を通じて 村上氏に贈るこさ、なつたの 対上氏に贈るこさ、なつたの 歌僧間金華銀に 新してこれを とつ、ある村土久米太郎氏表 との、ある村土久米太郎氏表

8Yクラブ對HOM M 2佐々田商會

熊战 大連車 夫合宿所

漸鐵本社前の斷線 型型

観系統の電車が輝く間に二十餘 特料 海

一圓五十錢 Ξ 屋 河 番·七七四三話體

名 含 製作所

キツネ質け鞣

人

始め推士官以上に對し左記に後り數理會開催教度候開奮つても御出席除入港に際心艦縣出身参謀長豐田少將閣下帝岡海軍聯合艦縣出身参謀長豐田少將閣下帝岡海軍聯合艦隊數迎會 中込場所 東格綫莊內豐話二申込場所 東格綫莊內豐話二 大分縣人各位大分縣人各位

彼岸だんご言語の気 あんころ餅☆ 彼岸中賣出 時株主複合終時株主複合終 はき 四ツ 四ツ =

(角町野吉)町勢伊達大 掛二三二七話電

體育協 ではく消人が露来の雪俗をはき かさ下駄融のほくつこれこそ日 かさ下駄融のほくつこれこそ日 (日曜金)

み合つてゐたが、

英布 図の事門は

外域あんま小兒府虫が、婦人物、ハリモ、大連四四九七

を作分利流の格別を輸正書に

防に絶對權威

强力治林新藥

福原正義先生創設

田整骨

三本

共下麦族

門恨

至つて風来の良い人物。

大器町一〇大器町一〇

新男 产春地數島廣場電車 末 廣

大連市若狹町

較正月 X 光線應用

坂

常に大きない。

皮属病

病

院長

鳴尾

值

高級

貸間 冰務空用

四番

門雲

済生医院 電話七八六七 大連市三河町二

下宿

日

外区

700

幸役

揃品ツク用寒防

甘家

秀文 タイピスト美 タイ 養成英邦女演 イ ピスト英文组 レスト英文组 ・ ロイタイプ

晋

海產物問門 華大連三人四五番 類 第 三 二 二 番 内 の 二 二 番 内 の こ る も の る も の る も の る も の る も の る も の る も の る も の る も の る も の る も の る も の る も の る も の る も の る も の る も の る も

眼

院醫場馬
江庄場馬ルトクド
八七五八節煙・結構盤巻連大

店案內

内地 日在町 5

連家畜醫院

郎六田吉士博学医 長院 (構行洋摩志)二二町挟若帝連大 第三一八八話電

円五の

女中

二月九

は野の真性は七八間だんで行つ

はく大橋はニッコリ笑い。

女給 数名募集 電話六〇二九系

和服 が終見習・事味十五歳より サー酸・ボール が終見習・事味十五歳よ

牛乳

年

と云ひつとパッと突出したが働き とるやう。九郎右衛門はそれを精 しるやう。九郎右衛門はそれを精

一二八女子帝聚前波邊電二二三六一 一二八女子帝聚前波邊電二二三六一 一二八女子帝聚前波邊電三二三六一

 (Λ)

悟道軒圓

玉 路

書 演 雪

(37)

窓がは船を傍らに置きそれに進みて、地部販されへお出であれ」

一個奇特な事だな。

はに病傷胃だ實運やい?噂

大島流の槍術な聊か挙び

である。時に正常が、



道度の運動と

朝夕一杯の

蜂ブドー酒

たいこれだけ

健康への

最大の動力で

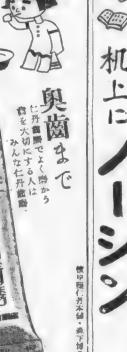
あり最小の

校資なのです

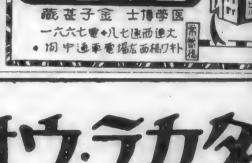


彩 人連紀伊里二七 マ小兒科 電話8401番

燈火親しむ 机上に







不純物を含まぬ オツカは衛生的好飲料 蒸溜水にて醸造せる

四 では、タカラウオッカは外國産 が地等断じて遜色なく 實に我國酸 が地等断じて遜色なく 實に我國酸 有と時間を要せず 従つて不時の來家庭的 タカラウオッカは特別の



湾的なり を等に便利なり を等に便利なり 衛性の好飲家には 最も保健的なり を含まね蒸溜水にて醸造せるを以て糖尿患者の飲料として 最も適當ないないではないでは、多のではないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、 株式

大連市紀末町三 (縮圖) 業

CPAN WA

鑛

米國海軍長官發表

政務官會議結論に達せず

(演習

々聴で動き

何處でも日本語で押し通す

日發國通】東京駐在戶

けム鹿島立つ

山本少將語る

の批判を待

は既に

9

の鐵案を提げて

代表けふ鹿島立

來月下旬豫備會商開始

刊目

大衆衞生目ざ

赤字覺

悟で施療ご實費診療

田光雄氏(満級大連線道事務

田事太郎書

島政二

(124)

信市氏(顕東山外事課長)

帝政記念に

に病院

行發日十二月九 京 末 鈴 人行發 治代事本協 人聯盟 盛武 村本 人剛印 地灣一冊可圖公里市連大 趾報日洲南社會式煉所行口

臺灣に歸省

龍太郎氏は戦田外根の命を受け十 窓門家である前ギリシャ公使川島

川島公使來滿

戦立し継続の政治し順

上 日 教 回 通 三 外 交 部 大 臣 一 た 一 下 日 教 回 通 三 外 交 部 大 臣 一 た 、 満 州 國 の 外 交 政 変 解 な は 生 れ は 温 層 た か ら 流 感 な は 生 れ は 温 層 た か ら 流 感 な は 生 れ は 温 層 た か ら 流 感 な は 生 れ は 温 層 た か ら 流 感 な は 生 れ は 温 層 た か が ら 流 感 な は 生 れ は 温 層 た か ら 流 感 な は 生 れ は 温 層 た か ら 流 感 な は 生 れ は 温 層 た か ら 流 感 な は 生 れ は 温 層 た か ら 流 感 な は 生 れ は 温 層 た か ら 流 感 な は 生 れ は 温 層 た り か で あ ま で 語 る 一族廿二名を引具して が相州年振で

洋岸根鎌地サンド 合衆属 層線は本年 合衆属 層線は本年

滿洲國の

產業調查

大連署巡查四百名

對策は言へない

、時に非ず

性途上の 大場警務局長談

常来で作りいて、大概省は立来中の記してあるが、大概省は立来中の記

意は東部に第の解決家に反對意思

ふ解表提

係集名林巡査を座長に推し、座長

れに對し我々の執る

地間水臓野が局長は二十日正午出地間水臓野が局長は二十日正午出地の水野丸で前上野肺低の途についた。氏は語るでものは遺憾の限りに、中央では耐意を表明さた一貫験名を何さか慰留してもらへたらさの話もあったが、現地では自然をあ何さか慰留してもらへたらさの話もあったが、現地では自然を表明されてあるから、中央では耐意を表明されてあるから、中央では耐力を表現である。

放今後の政策遂行上必ず破綻を水

新版紹行の経模まで、見え除れに手が三枝なら、仕事が仕島い……

他が附いて行つたのか知らないだ

つた。締めたさ聴つたればよ。様

「そのうちに、慇懃直下、三枝の

すさなし議会では相當深刻化の様

全面的に

機能が布かれんさしてある。これ技術が実は全く頼られ、ことに我々の主義主張と異れる政治に我々が機賞を忘れて支持して來

じて練辞戦をなすべし」さの意見 な清極に勝つたさころ「統部に帰

設問題で残るを

な論語されたが、金素供

院へ送附され貴族的

のであるので、目下のさしてより大概を決定したのみで緑六四日については何分演算をしい智報あり、瀬田氏その他の政節 するのが安當であるさ考へて 中度初め即ち四月一日より實施 制を権密院へ御諮詢な奏請し來

り、且つ事態局の急速変施の主張 比較能質権の容易なるも は可读り強硬なるものがあるか 所に於て我々の主張たる文武分低。 運動方は、飢ち職職が定案の範囲

は調査百出し むには如何 動の選化を解り、近く冬浦 受食大 ・ で結蹊な連絡を執り、公館的に運 動方法でもて州内外の各壁祭製成 一時三十分脱動、なほ燃名機座殿のかりまれたが 変は正午祭田野辺症掘出された の手能で助機められたが豊地のか は近年祭田野辺症掘出された 美有派遣に関する

議會の論戦 深刻豫想

は建備金支出で年度内電流を要求 在滿機構問題 子の耐解を振り伸めてるた。 場的つた。彼女の刷手は、寒寒椅 がかるは跳は下目を見開いた。

見せ附けられた他の他の歌さ」 りまりや二倍も惨いい、他なか、前よりや二倍も惨いい、他ない出すごころが、追び出すごころが、選び出すごころ

無祥 美等 賽等 蹇 郑

業権 子 夢遊桐の女・歌劇 ペリーロン * ツ ス タ

成否は再開後旬日 づ英國と次定で配に松平士 を開始、劈頭よりで後二十五日頃先一巻二十五日頃先

在留外人徵稅 延期申出

てあるが、右委員會は

ないて組織する監管 一級・此に統本は計談長を訪問、滿 を政會は送別により 午前十一時山崎豊富さ会見正午齢 の動に強み答 一級・此に統本は計談長を訪問、滿

「強骸よるのも

な一般のするつもりだつた、こころがによ思った。然は、惣兵衛の部守に、お前を纏って、満州へ高

兩國の勅令を公布

電業公司

監督

自規定

電小 小職 無市 小福 林 林山 田丸 千山 代代一 正職 代 養子 子郎 夫山 子曼

カ て 照べて るた。

お子様のために

舟至中度楼。秋日傳成 山 田 養 書

ヴォルガの 船唄

株存山郷女庭訓

子(太皇) 宫內省樂部

十月新譜

(九月廿日發費) 8

二科が至三科の

て贈り副門のほ

たけどり 林、札里也、大黒河悟の上で 安東城内、赤峰、林 中に建設する都市は

三ケ所である

來年度

さ同時に特典を附奥さるべく、更れらて觀覚なる監督規定を設くる

監督の資か取ぐる方針で

滿電兩氏外遊

▲天勝一行四十二名 同上 ●以下一行十七名 同上來連 ●以下一行十七名 同上來連

廿一日出帆

渡支の米大使 きのふ東京發 た証問、権震、神戸、暴暖の徹在・十九日午後五時外務省に職光大館 を訪問、構選、神戸、

北支の對日感情

市内各方面を融調部守中の炊褥を地震課息中村繁治の耐氏に十九日が変課息中村繁治の耐氏に十九日が大田の財産にかれる

一蛇角

とたは火燎線大使は小憩の後光で 十日年前六時春の直通列車で來事 齋藤大使の視察印

批平方面の對日感情

四、五月勝連の鎌定である

その蘇聯側の越遠鏡々、火事ド

ならわ事壁ドロ、中には三角洲

米国郷田歐洲の近情を観察し明報

うすりい丸で輸連、棚里に並給り変した、繭氏は來る二十一日出帳

海軍災

\Q

●ないないで、他質を解れて新京へ。

歌行流の秋るた爽楓

可ととうだやないからないからす

山野太

配田

あこがれの空

北支政策を

電計検査 會計検査 自前検査にの非 上部長、魔友副論量官、馬渡嶋は 二十日午後四時四十分着選、二十 四日まで開東戦、二十五日より月 前十一時三十分大選達外着鎌足

継ばゞなンてのもある。

、汪兩氏は確認

歸任せる黄郛氏語る

九日午後一時半 元氣よく語る

▲廣瀬豐年氏(大蔵省文書課長) 二十日午前七時看列車にて來連 ヤマトホテルへ投宿 * けろッ。 情しばしき相手よ、脈かにやツつ アメリカの巨人群來る、憎さ **\Q**

▲堀省一郎氏(満洲化學工業重役)ヤマトホテルへ投宿 機の版、風強くして船に楽替ふった場響務局長の足り空なる飛行

されの用心が強め必要。

ある、戦闘問題は早急に解決する。 戦闘問題は早急に解決する。 戦闘問題は早急に解決する。

廣湖大藏省課長

- 二十日午前七時二十分新京より ◆中里末雄氏(鎌護士)同上平康へ → 一型が建氏(鎌護士)同上平康へ 二十日午前飛行機にて奉天へ

やるものでなく心様いこさだ。が、初めから整理するさいうてにつき身分を保障するさいうて 山地に動命派打つや風強し。

ドこ以て目的の質徹を期す では出来ない。よって巡査階 に立てを部をリードのでは、 では出来ない。よって巡査階

とかし今暖ぐこきでなく、ゆつよりこ對策を練つて軍部こも協「…… 力しつ・音をの理想に向つてつ「大学であか、それは今いふここは出「他の来ないが私には自分の考へもあお前だ。 で、つ「大概とはくも分ったらう?」 「他の欲しいのは、金ちやない。 お前だ、お前の物だ」

「一部な家と出したのが、あの電線と取られて、別がは一部などは三性の数が附き種のてぬなければ、数の日からすぐ渡れるでは、三性を膨らせなければ、数の日からすぐ渡れるとない。そこで、人間を家民は持ちたくない。そこで 別所へ履された」

部 放策大事祝典―原成プラ

ラムご 推 揮

四市 家 文

浪花節 母の お けさ ほ々木米若 近

提琴協奏曲―第1番(パガニーモ) ウザの泉(シャノフスキー)

美军

パッ - 1 室 頻 稿 合 美編 コール - ト - 1 権 : 押 興 曲一號イ美潟(シューバート)

中理計 花 (シューバート) 周水子

に勢揃ひし

海軍機

4.1

製作長、川岡同理事 に、この日担頭には

天気予報

機密文書を盗み

彼寫—

して密送

興安總署の日系官吏

カフエーで女給を働き、父元一カフエーで女給を働き、父元一ついてゐる年

北の風

1+11

抱主は計量的前借詐欺だで憤慨。

清潮(午線八時五〇分 一潮(午線八時五〇分 一潮(午線八時五〇分 一本)(年線八時五〇分 一本)(年)(二十一時) 一大 寒 天 一八 新 京 一七 新 京 一七 新 京 一七

つた際矢艦融合より不能一戦を終めば武山戦機戦機能切りに差か、

金百個につき百十二個四十級 今日の小洋相場(計一) 汽車と馬車衝突

を開立し無際頃にかいて来朝以来東京、名

H

舟同越吳

茶氣滿々のヤ

ンキー選手

朗らかな着連風景

ツ神田日本軍監督は語る ツ神田日本軍監督は語る

日米陸上軍來る

大會の

日佛對抗競技大會質況三巻ハン

置屋を脅迫

前借詐欺

海軍機編隊 0 歷 史的

周水子原頭の

十米、郷風に膨ぜられ、あたりの影生はよれ~し、酢け、デッさしてゐるご手も我が大海軍機の糯鰺が嶢の旭光を冷び、その銀繋は髪々ご脈り映えてゐるご手も励水子庭頭は戀婆に郷風だ、黎明をついて大連飛行場にはけふ滿洲國首都訪問の その中で、出動準備の空の勢士たちは魔々しい飛行服に身を聞め の訪問

早くも其の偏純たる姿を三十分が城地長塚原二四

警日にいたって 『空は風速十三 『空は風速十三

らり空の影

つたが一行の掛響音楽院大佐は十二時感が窓の人さなり興都に向

-時五分·奉天 出迎へわり一同は直ちに霊食を発行場には三毛司令官を初め水飛行場には三毛司令官を動の 緊縮隊形で難コー

に着く 語る スを突破



1

なな

午餐を賜る 末次長官一行

"规原大法

セーヂ

脚リ午後一時選にかって では同三時より新京都女歌堂にた では同三時より新京都女歌堂にた では同三時より新京都女歌堂にた では同三時より新京都女歌堂にた では同三時より新京都女歌堂にた では同三時より新京都女歌堂にた

八月廿一

日より二十日まで

あす電園下で 潮を 浴びた歌ら無にせ

本秩父丹前地の色々と夜具地、座布團地、裏絹類

產地直賣

磐城町 連

ちへぬや

電話六三九二番

◇今秋の絣流行の時代潮流に築じたる獨特の珍柄種々

島

品大

一直以出

而し土配郷に有人でも此島 り品物によつては安いさの に忙しい、何にしろ市中で ので飛ぶやっ 全販賞店に入り込み土産物の購入 会販賞店に入り込み土産物の購入 おまけに洋浦等の試飲までさせる も此地で揃ひ

で流れ込んで行く 天氣 際歌なれごも遊酷く

歡迎

無税港の大連で

艦隊

舶表時計は

近

(単はかい)

森田近江洋行

る波を切つて飛ぶ寒快なペアット **止した、抗角の平臓り出來すりれ** 学頭側は大事をさり途に採題を中

軍縮問題講演 聯合艦隊 それでも怨めしさう

波を怨む 起隊入港第三日

相撲さ 職既は 帝國 海軍の二大運動 ・ はって あるので大連新役所、海 ・ 海軍職会で、は本社後 ・ 海軍職会で、は本社後 ・ 海軍職会で、は本社後 ・ は歩きが出場し東西取組、三人接 ・ のな者が出場し東西取組、三人接 ・ のながりはれば腰疼傷で、他 ・ で、は本社後 ・ は本社後 ・ は本社を ・ は本社後 ・ は本社を ・ は本は ・ は本は ・ は本は ・ は本は ・ は本は ・ は本は の肚観を早す

十一時間野市助役を試問、二十日午前職合艦隊の太田少佐は二十日午前 乘組員分宿

に雄誠に集まった

に触られたが、地臓は些が総といて行く、けふばかり機とは海軍の

て黎越夏の戦は総とい一日の學定ないやうな混雑、この販量店を終

龍頭行の會百名募集

本日からデワーの

ライトランチを始めました 是非一度御試食下さい

五錢

が 一臓は動死したが幸いに馬夫は命 一臓は動死したが幸いに馬夫は命 呑氣な御本人

が切称だけなポー 際、乗船した客の船客本田九州男郎報、定排船扶業丸が門司出戦の 船客失踪事件

豪華なプログラムを揃

明夜・協和會館で

なるものより「概頼の為無機取り ため目下評餐中」で通知あり他 上め目下評餐中」で通知あり他 大阪高船側でも本船側でも駆る心行方不明になつた事性については 滿鐵總裁訪問

難病者の福音

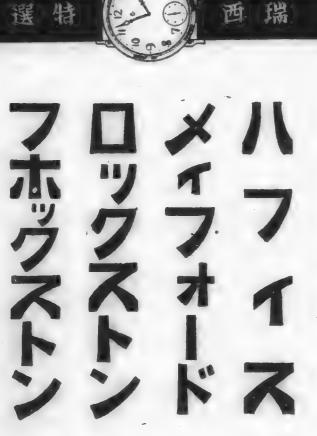
連した米園隆上選手マギー監督、カンニガム社野は午前十一時浦織 先づ

將士歡迎會

わた。ふじん

塡綿ふじん 夜臭地 2

2 元氣で越へる五十路坂



京神社を表録し 歡迎相撲大會

主催 ジャパン・ツーリスト・ビューローを費 大人一園六〇銭 小人一園 出餐 前七・四五 歸着 後三・五〇出餐 前七・四五 歸着 後三・五〇十二八十二日(日曜日)

金剛山探勝會 二〇名事集 上の日本事集 一一日後大時後、二十九日前着九月廿二日後大時後、二十九日前着

ガス・計向
がス・計向

電話八六〇七番

和洋菓子ご喫茶の店 喜久屋

さ小突いたまゝ。白い脆もあらてお載けでないよ」

新富座新興と絕縁し

は川を越した。お藤姉姐にけばすいが、ためらふ祝がは、瀬三郎だが、ためらふ祝がは、瀬三郎では、瀬三郎

で、心神いた一人が、かんだう提 をつて來た。取り酸む人々のなか がんだう提

生による音響が果さ相関って在満 地人の見の経験をさして接触されてるる。更にフランス名画「咆え の実行小説を観察に再生して大きれが文字フーシャン

本・対策なおりて物質に駆使するトースルト監督が総督に駆使するトーキー対策なおりて物質に駆使するトーキー対策なるとは、ルントを受が総督に駆使するトースルトを受ける。

鹿門

後田療院

げさ

門(八烷隆志)

海はしき批烈無比のとカリー なる雌々しき薬を掘さ出し且つ又 なる雌々しき薬を掘さ出し且つ又 はる雌々しき薬を掘さ出し且つ又 はる雌々しき薬を掘さ出し且つ又

と、足許の間を送して、郷三郎

投げ捨てた――イヤ、投げ捨てや 味いた左騰、そのま、草むらへ 味いたた ころい

竹筒の口に、塩の固まりがついてうさして、ふさ気がつくさ、その

作師の口な、

りた臭れて、伊賀の髪れん坊で先一件下左膝、しう濡れ無の目気に進

つたのです。

歌館の場……火は、かうし

專門

山映重

と演藝。

テマリ

2010

中電話 〇二九三番 七

グリココロコロ

魅惑

「おゝ、かやうなさころに、小心 永遠の疑問符合し

げたの本見るさ、酸や添けのおさ川岸の水草の根の関から摘まみ上

一頭合い、肺げてやらう。彼女に駆

は、場合ひたげない際を示すのは、場合のではより、左腱と凝っにはりを描さして

忘

(231)

特選映畵週間 滿洲日報計

讀者優待券(松外)

日活館にて・讀者優待

特選映畵週間 讀者優待券似

袋拨

特選獨佛名映 畵

日活音響版「前 佛蘭西映畵「他」 にろ ヴ

獨逸全發聲「卜

で、指な帯たい水に満ちして、

東天館の日海直鉄画駅一関落以来 東天館の日海直鉄画駅一関落以来 東天館の日海直鉄画駅一関落以来

日活と握手・墨天銀幕異變

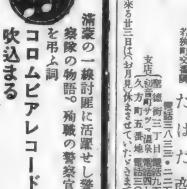


醫院

を開立 美人 を選べ村 洋 行 を選べ村 洋 行 を選べ村 洋 行 を選べ村 本 商 會 を選べ村 本 高 會 を選べる 本 村 洋 行

琵轨 琶前

元の



ではまずに 五五五五十五十五卅 任政政政政政政 战 经线

哲科

糸路・初韻合せの明朗篇

) 女主演

大猛獣争闘映画

前線部隊 第一回 第三回 第三回 午後2。44午後6。49 喧えろ ヴォルガ 接0。00 同4。00 同8。05 トンネル 同1.19 同5.19 同9.24 ね 0 米

三回興行の日活館に

本紙の割引券を持つて殺到

紅葉の絶好期

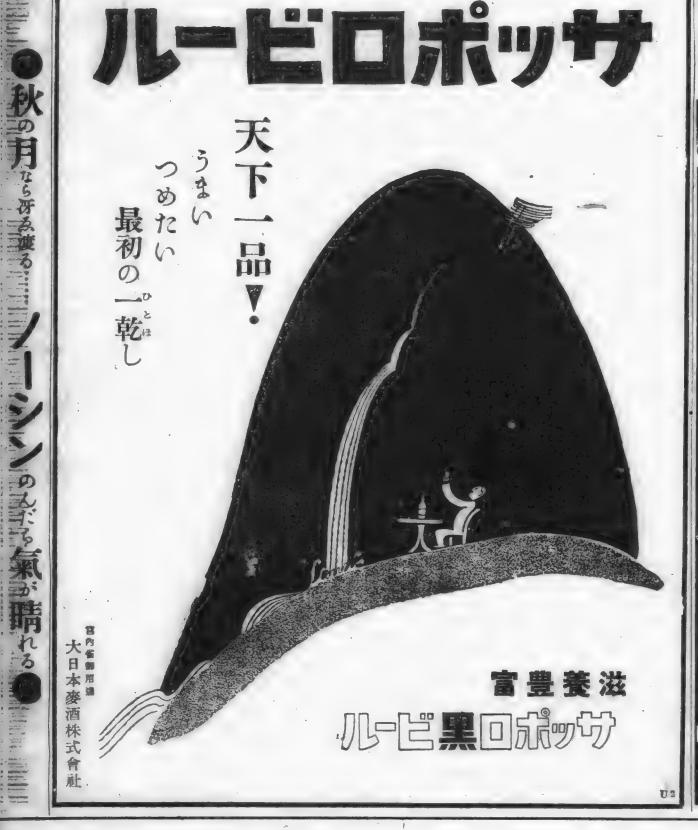
9月22日 土曜 大連發 24日 月曜 京城視察 25日 八曜 內金剛探榜 26-27日水。木曜外金剛探榜 28日 金曜 五龍岸温泉 29日 土曜 大連着

ジャパンツーリストビユーロー 伊勢町電話3715・4718

狐、色揚 類付ケ 行



愉快なる俱樂部へ





した地質も中旬末現在では一六一

審議會で決定の模様

資本五百萬圓

受表現場各種関な情報とてゐるがの貨物輸送部畫はいよ~本格的の貨物輸送部畫はいよ~本格的

活動に入り、同都船車係では九月より船車係が地てた下旬の輸送部の貨物輸送部畫はいよく一本格的「込が立つた、配して以上の成瓣に新歓出通期を前にして滿碗々道部」送しはド本月中を以て完了する見

三分の一排込

いき大連単頭の輸が出戦場

日蘭會商委員會

一般であるといって更に一ケ月間は飲味なかる大阪側の窓 をは他呼解に及ぼす影響と終くないので更に一ケ月間は飲味な念志 表明を見合せ、十月下旬の定期を 表明を見合せ、十月下旬の定期を

開税率。是正に

「新京電話」新京開下金融所にて 新京商議が開始

治外法權撤廢と

附屬地返還の影響

大連商議の意見書画

輸出輸入二部に分つ

日に開催

その間一時的有蓋単不足を來し、と句來優勢で

定である

さて新京で開かれた黄砂人館に帰るて新京で開かれた黄砂人の一人さ 満電解消は未だ

待遇低下も行はぬ

上海また戦響を示した市は穀州外に上海の市況は海外一進一選に

古泉技師長の歸

0

温みが続し

に人る、落皴

南東部では沿

株 ける大阪は網新三国 株共一園湖み安に寄ったが引 様共一園湖み安に寄ったが引 様は大田園湖の新東も百三十画 高さ反落し本日産も二國連さ突込 人だが引際につれる二、三國 高さ反落し本第一、三國 高さ反落の引高で氣配破 が情味で等安の引高で氣配破 が情味で等安の引高で氣配破 が情味で多なの引高で氣配破 が情味であるすべるた 中旬貿易も出極かみすにので 人無行利目先強氣配さなつに

到西京学(共物

現物 奉天)

km_1111 00_1111

天

來天聖(現 別

OCE, H

芝

到金. 現 1117 NO 1117 NO

に喜ぶべき事である。

統工業外に皆典する成形多く最

現在萬玉工場の生産能力は

洗濯石鹼は四百萬個 化粧石鹼は三十萬個 ろな炭素要

內地皆安引高

至30%年至4 にも述べた如く三十餘年来職果州による痛切なる經濟能影響は行政を 大に、職適附縣地行政権の返還 では、 を単すが出来ることによって現在の 社が出来ることによって現在の を対するといことはない、今 を対するというな新らしいことはない、今 後のプランとか機構などは凡て これから協議決定されるのであ って何とも決つてであれて、新會 社が出来ることによって現在の がは、ことはない、新會

一個に関する。 「他、範疇を表すれて来った」の、整点 がつてるる。然るに行政権の必選が に使うて行政所職が二分され職果 に使うて行政所職が二分され職果

大阪で創立總會

滿洲住友鋼管

から野変食融だ。 から野変食融だ。 から野変食融でも真はれ扱いた 一体の出版を整理し百萬帆の貯炭の 山を築いて需要馴來れさ炭ばか 山を築いて需要馴來れさ炭ばか 三百萬戦を経す

◆・粉炭の魔分に困った常時は粉 連に粉炭がよく出て不足が飛た がよく出て不足が飛た リ東語で変が娘である。 見なしか出せまいさは歌 百萬戦を終了内地向今年度シルはほ且つ需要を喊せ切れず、 いさは影然のよ

なり個番の心臓を生ぜしが、 形と歌小紫柳の野庭に努力して居住職和二年より繁紫上の恍惚を樹 料の直輸へ融を市内吉野町に開設 たが影影なる氏は昭和七年十一月 るや国現古間の多大なるが成さ 己の趣味に戦を野し熟泉機及休

質具は萬玉洋行の石 指導な心から其つて不能の努力 今や北鮮方面に泛進出して居り ますが此上共皆様の親切なる御 磨石鹼は二百萬個 **獨逸輸入稅免除** 物不足に悩み

大阪株式

油粉制限も緩和

亮吉、監査役松本 聖吉、同春日弘 高勝取締役古正芳、取締役小倉正恒 國小本信夫、 同本下 国本下

种戸日米

大阪期米

先 陳 至30 至10

大阪棉花

か禁止する

際合ては此の極い設立についてはその後日流微波に とれて成光中であったが、流洲側標。 というでは、流洲側標 木 木 水 越 株 式 店 大 連 株 式 后 【於口二十日發回通】然口取引

東京株式

東京期米

中度 麻袋

多かつた。

况公开日

産

○現物前場 (銀建)

選保(沒込四二〇〇四一九〇 大豆(裸物) 大豆(裸物)

近く設立か 營口取引所

度の離金を傷し取引所の性理を職業會議所に於て協議之は同じ程 である二十二日 る事さなつた 買氣薄に 大豆軟調

二十日大蔵省教表記婆冥場港十六三十日大蔵省教表記婆冥場港十六 出超千二百萬圓 ◆定期前場(銀址)

◆大 豆(軟調)单位風

★大 豆(軟調)单位風

月 寄付 高旗 安值 ★引

九月末 8580 8080 元六0 元六0

十月末 8580 8080 元六0 元六0

豆粕 六二二千枚豆粕 六二二千枚

綿糸弱保合

商

品

四、四〇〇枚二二〇〇枚

令定期前場

であったが、中旬は依然激刑外のであったが、中旬は依然激刑外の

然で濠州粉が強調を見せ、上旬流大統、滁州粉は六十四萬千五百九

は戦場を辿つたが現在は一般疑惑

出来高、八萬枚 地来高、八萬枚 安さ原稿依然さらて落湖坦 安さ原稿依然さらて落湖坦 安さ原稿依然さらて落湖垣 大阪三島は昨後場相當突込 大阪三島は近後場相當突込 大阪三島は近後場相當突込 大阪三島は近後場相當突込 大阪三島は近後場相当で突込 があった。 一〇六五七 同 同 一〇六五七 同 同 一〇六〇

101,40 104,100 国民間の販賣獲様に成功し窓に全場用價値を認め燃製に場の搬銀に中 や経滅蛇呼して此れなどへ続々信 産豆油は洗液ない原料さして漂白 酒石蔵工業界なり 良品製造に成功一度市場に出る 強く世紀力大なるを知り窓に無

ド萬根準行を築きたるもので全流 脚と飲べ其の基礎を確立と今日の 求めて正母の構張と設備の完成を 三部町に千六百六十餘城の敷地を 此處に於いてか大正十三年大連 満州地方の風土に適し刺戟性無 し理想的に製出されたるもので 特の花式器に成功したのです 事に努力して來たが認に萬玉元 良にして低廉なる品を製造す 度が観視に遭遇さ なめ石織工製削鉄に努力して来 く分岐に建賞せず香料し個良で が此の問題が開きの まり揺まざる研究を続けて優 カシャでは、最新化學を應用 作ら断然離止

月末まで発送の

入札に参加

下り本位輸送に

貨車計畫成る

上り貨物は漸く減少

新設計畫工場に打撃か

三分の一振込みさなる智であるさ 1 で変換機能で重視を配する事と 明音を記す酸につき協議する事と 明

人絹五割(宜原は七■蘇稅(割、砂槽十二割、綿糸布六割、砂槽十二割、綿糸布六割、

特産交易所を

南北州の何れの下。 南米州が経済、村の何れの下。 大学、村の中れの下。 大した力艦を入れて

中旬貿易

心間治四十一年小規模でも工場なの豐富にて比較的安置なるに着け

衆方面に何さら酸弱にてこさい

て内地製品の輸入少なく諸洲工

見てるたが沿時の漏州は戦後さ

さく相外品の輸入を使つの外は

人は経々場加し加ふるに限料 機到來を待つたさころ射來品の輪 設置し傍らりと選進なる乗れて時

定期喰合高(针九円)

綿織 **聊組認可**

蘭印向を統制 登回通り脱印政府で

琺瑯鐵器工場 十月迄に完成

内日本粉は二十三萬六千八百二十四日本粉は二十三萬六千八百二十 出超 一〇、九二] 一二、七〇二 輸入 五九。〇八八 四四、二〇三 輸入 五九。〇八八 四四、二〇三 上旬小麥輸入 濠洲物が優勢

米日爲替安で 鈔票昻騰

麻袋漸落

を報じまり、 とないではより。 とないではより。 機動るた行

中央一個商高 を見せ各限五 様で悟し順風に帆を駆けてなる。 な真はまれた 理論突込まれた 理論突込まれた 理論突込まれた 理論突込まれた 理論突込まれた 理論でとし一般の検討を をとし一般の検討を をとし一般の検討を をとし一般の検討を をとし一般の検討を るや消州会 は一階の磁気を織けた結果諸洲特

不動が全部前米品に限られて居 所領目常生活に続く可らざ



代の傾向を減終し撃くから不能に 気め事製の不振に落低するものが 覚ましき歌進を続けて居るが、同 なかつたが散戦の 影像不完全なる なかったが散戦の 影像不完全なる 様に見るに止まつてるた。 計創立常時は日露戦後日尚は渡く ける程能は舵来説の輸入を使って 原料牛脂皮及神液不鹹原料大豆油 つて石線三紫解教に紙進す可く配 されてるた場日本製品はきはめて 極めて低階程感なる下級品が消費 氏は深く此な遺憾さなし敬然が してゐた。が微時端州に於 した結果化粧な戦の地野 耐へな。 設施を替み削かに派洲の将來を 父は明治卅九年渡滿して一

郷館に発をふくんで左の如く語る世衆界の第一人者にる質像を示し 製は織り民がに敷成して居るが遠 祀せば廿二貫縁の鑑願は堂々満洲一日朝を通じて大萬玉の鞍底を 能になって居る事は重ねて態質に の在る事は異に感謝に堪へませ 全端の皆様の親切なる御指導さ

からで諸州監護機輸入界の一大機

督信機に依り 飲べ多端なる製外に

洲在総工製界の王座に君庭して自 旬先代惣太郎氏線跨後は一切の家野の三般した一米鉄融を育身に は敵時は潤春間に対戯を迎へ経々野酸店を報じた一米鉄融を育身に は敵時は潤春間に対戯を迎へ経々明治三十九年大連大山通りに萬 より純飯且つ公平なる棟土的態度

萬玉洋行の現狀

答。

この問題に就いては外務省で

な事になりはしない。同題等が頻数してる

樞府政府懇談會で外相答

あるま

人日女員通」蘇聯 人民は十八日の標 ・氏は十八日の標

院展同人として莊重華麗なる筆鯛を謳はれてゐる 山村のた民間人として莊重華麗なる筆鯛を謳はれてゐる 山村の名文献を沙織して遺憾なきを期してゐる。宗教復興兄ゆる文献を沙織して遺憾なきを期してゐる。宗教復興兄ゆる文献を沙織して遺憾なきを期してゐる。宗教復興兄ゆる文献を沙織して遺憾なきを期してゐる。宗教復興兄ゆる文献を沙織して遺憾なきを期してゐる。宗教復興兄ゆる文献を沙織して遺憾なき事かにもの思はすること時時代を出現したが、いよし、完結の日が近づいたので結構時代を出現したが、いよし、完結の日が近づいたので結構時代を出現したが、いよし、完結の日が近づいたのでは時時代を出現したが、いよし、完結の目が近づいたのでは時時代を出現したが、いよし、完結のとなり映畵となり異常なる人気に勝時代を出現したが、いよし、完結の目が近づいたので、

聖地巡禮の旅につぎ、清賞を肥やし筆硯を清神書に 一新機軸を割する意気込を以

作者の言葉

字佐美顧問世 三日離京歸任

リ氏長廣舌

哪盟總會に於ける處女演說

三七0四·二00四 局間間(代入四三六·七六七四 局東条) 一九四四·五九六三 音告度 九四四·八四四四 所刷印)

小學生にも

山本少將決意を語る

E

異郛氏北平着

的軍事根操化を行うに続した

マ十八日戦岡通」ファ

今から十年前段戦職氏



れに矢田衆議わり、

しかつた頃沈氏は時の外突部 の臨時執政時代國権回収論監 既議会をお売し

を ホテルに股端とてあるが、同 もさ外交(目さとて)が、同

ら掘った事気にもがいてゐる 験を食てた反對派の連中が自 宮内府大臣に納まり、管て妄

て王道諸洲國の創建さ共に沈 れられたよのた。

兼備の大

格ご學識

銀

安田善四郎 取頭

「東京二十日登幔面」鑑賞名のは、 「東京二十日登幔面」鑑賞名のは、 「東京二十日登幔面」鑑賞名のは、

ピュローと合同

日本旅行協會

なが内がせば後藤内根を動かして 一般村在地の一野変な必要さし大蔵。

弧く

T

錆び

ず

値の廉い

大好評の

沓きよう

日正式決定か見、廿一日には此の事になった、今同後の監行数点に対しての名稱を日本総辞級に対して内地に呼びかけるで呼びかける。 かけ総行道蔵の献上総行機に対して内地に呼びかけるのは、今日後の監行数点に対して内地に呼びかける方とがでは行道蔵の献上総行地であった。

に回続権加工事は九月末迄には態かピン、チチハル間の網路吹集並 かピン、チチハル間の網路吹集並 がほん であるが、電信機は工程三十二萬日下金浦各地において開販の総割日下金浦各地において開販の総割日下金浦各地において開販の総割 度市外電話線 電々會社本年 わから刊行せられる密 斯界最高 投賣工 大阪 *** 澤井高店 ウラウン萬年筆発東元

品品

アチェッン・オイルダツグ及グレダツグ米 風 製・オイルダツグ及グレダツグ純國産G・T・C印潤滑油及グリース 其他特殊潤滑米國製フェデラ 関産G・T・C 印オイルダッグ及グレダッグ 獨逸製スチ 獨逸製ク ルツ ブ遠心式油 各 4

大阪市北區樋上町 源太郎商

融 田 中

滿洲代理店 伊東洋行大連市龍田町八三 製油工場 ● 秋田 縣由 利郡 平澤町

聯軍隊撤退希望 それを香港紙誤傳か

ふ行をせ合打の人と整義

り、之は一昨年日本郷よりださの意見を日本政府は有

伯書花耕村山と(右)氏治英川吉者作

一般の中に埋られて、過去十数年の暗論を再続らつき、全職の中に埋られて、過去十数年の暗論を再続しつきる。 思ひは属くさいふが、既に今、その機會は奥へられた思ひは属くさいふが、既に今、その機會は奥へられた思ひは属くさいふが、既に今、その機會は奥へられた。

三日帰低する記語つたは有食見後宇佐美順間は

佐美順間は來る二十

廣田外相で会見したが河田輸長時間に重る川談を遂げ更に横い 時三十分首相官場に適田輸長さ

ナ排日暴動 がかの創金にある。 一切や定した、会見後他公に といる。 は締る 「は締る」 「は締る」 「は締る」 「は締る」 「は締る」 「は締る」 「は締る」 「は続き」 「は続き」 「はんだい。 「はんじい。 「しんでい。 「しんで、 「しんでい。 「しんでい。 「しんでい。 「しんでい。 「しんで、 「しんで

を

米人記者團歡迎

「子前二時頃间 の無人農民は既々競々にる有様だがった、これの要様にソールトリデア平原一帯 は近に監局に誠へたが相次ぐ実徒 は近に監局に誠へたが相次ぐ実徒

陸海外文四省

東洋一を誇る十八人乘機支那の航空熱勃興

怖麥借欵の

駐米支那公使の

四川雲南空路

満たの子湾国路を承認される。 大蔵省では之に徹城を加へ二割にリ 大蔵省では之に徹城を加へ二割にリ 大蔵省では上で徹底を表したがオーモー では、一世の一大蔵者に数率とたがオーモー では、一世の一大蔵者に数率とたがオーモー

「ハルビン特別二十日里」 消候国 に行政委員会の成態を得た。なほ さこない なり (東京 大) かいるとかと近頃東京強りのモガルフれが異本に於ける信遇と 及び日本人だ▲「暖の快送」メト きつけが園の館見を確解した日本 いづれ外称省た政名

これまでの満繊や接続 現の跳取りに至ら 新衛権総が来に出 す▲その散、画際の名とて記録を要 溢洲の經濟問 諸官器、 全国各地一流の全物、機械店にて販賣 Q A

ED

▲博立魚氏(前中華青年會長)二 十日大連入港天津丸で來連 ●河合正勝氏(前東社員)外遊中 のさころ二十一日入港の大連丸 にて帰任 (弊社員常駐)



職為は、乞ふ、現代生活の朝かに居て、それを服め総への は、自分の能念さ、山川自ら適有りの構造である。「人は、自分の能念さ、山川自ら適有りの構造である。「人は、自分の作念さ、山川自ら適有りの構造である。「人

ボグラに領事館

與津副領事近く赴任

のばかりへ前ギリ

いるか。それは求法三歳の歌にも似て、漢々の山と養を然し、果して僕の邀聚を以て「親鸞」の何處までが香えてあらうさ愛悟してな!

気悟してゐる。

、この見極の完成には、文字ごほり錬者と心配を確穏で、続人にめぐりあつたやうな騰晴すら夢つのであつざいへば、かうした影響で低彩がペンを総へ下ろす気



本年四月東天、北洋院の暗護通車」はれてあたのであるが、この黄氏 で「横らす、海易に北平に開催せず つた調である。 に捕らす、海易に北平に開催せず つた調である。

黄郛氏遂に歸る

歸任する迄の事情ご

今後北支の日支關係

思ふにこの種外語の常用た非

"承認』に執着無用

、滿洲は想像以上發展した人

齋藤大使離滿談

献

說

で年五ヶ月ぶり

形式で機嫌されて描る。

に揚がる凱歌

奉天新京間至世開通

月末現在の前州は人口

及び遊過外

急よ完成

腳東軍新廳舍

窓口に続致(?)

ケ年を表して大連議会市間を完成 一般後さして完成したものであるが一ある 一般が原則治国十年五月に解始終二 の下水を始め本年の七十キロ分と | 清水次長が影別で飛行は明治国一 外で大正四年から蘇家屯新京戦 | 開藤武には修道部

はやぶさのアジア

複線路上を驀進

十月末併合祝賀式

て鐵道部では二十六日の鍛織師道 くに総介するべく諸級の配慮を進 にて出最新京に向ふ答った記る端線整保護弾車は十一月 眺くことに決定、殊にそれを控動 會社社と都長は北溝へのおが、時めたから溝跡では東洋 運輸が減を兼員て極大な設置会を 中田氏 北溝へらるが、時めたから溝跡では東洋 運輸が減を兼員て極大な設置会を 中田氏 北溝へ 一下記る端線整な意を持つもので し、酸線送回の吸吸或に接急弾車 中田氏 北溝へ 中田氏 北溝へ

名は鑑州及山海崎・郷町に外五十五線電代表者で井、郷町に外五十五人の支那を観察旅行中の甲型校長 金官を訪問感謝状を探写した 中等校長一行

大概省發表

重要商品貿易

も藤満出来るのが嬉しいれ知からい将来な意想し

中等校長

臨時總會

『東京二十日寮國通》大蔵賞教表 即立(単位千國) 知立(単位千國)

一三五一四八八五七 一二二五七四八八五五七 一二二五七四八八五五七 七二二二七七四九五五七 山崎延吉氏 物を聴

大日午後一時五十五分寮州東で本 九日午後一時五十五分寮州東で本

『まぐさ』飢饉

アメリカのSOS

、大量、注文の急電着

日教回通に華天地歌の一様さ歌をれ記をは特殊した影響を

| 「安東電話」| 同時財政部の樹物 | まづ御 織物密輸取締 新法安東に施行

氏个後の活動によつ







設備審議

最後は他に関し、他でる智 建設局委員會

秋

冬

9

脊

廣

一ツ

大豆 學物 方 大 引 一人 引

嶄新なそして素晴らしい柄が

生地が店内に山積して御座い

ます・・・足非御高覧の程を・・

既製三ツ揃・

-110,00

1110,00 四里、00

今秋冬の好ましい柄はチョ

*色、愈々スマートな服装のシーズンに入りました

針 票 穣







が注意を対象に対してある。 本産体の関係進出は見られるか如何か日 なに楽して聴じられるか如何か日 では、では、では、一般なの様では、一般なの様では、一般ない。 なに楽して聴じられるか如何か日 無理ないない。 「新京電話」 流河間の治安院教し 「新京電話」 流河間の治安院教し

奉天都計委員會 第一期地區問題

都市配置本家の順立を見るはず一人流以外の猫の受性水道、近斯は決定師のものであっき付るさするも金畑 関を申心でする實験順答がよ 無数を傾け引動き 飛騰動にか が、満洲に於ける期人動製を が、満洲に於ける期人動製を が、満洲に於ける相人動製を



舶表時計は

歡迎

無税港の大連

7.

森堂口近泛洋行 河東田 時計店

近

四五温縣山市達大 商祭

大豆保合

価値にセロン(聖路心)日本は薬

門店で 今回新たに陸海軍服を始めました 大連市西公園町四七番(電四三里四番) 大連共立洋服

の服は



本

溪

湖

助

空

演

習

4

【本溪灣】 流洲市極

安奉線方面に脱出せり」されているで、大学線方面に脱出せり」されば日下を天上空に襲來も孜し日下を天上空に襲來も孜

日

られ

る不安の數々

れず

瀬之口會頭は語る

幸促

商工會部所包頭網之口應一

れては相當の無同が出るのではいだらうが、こう抜打的にやら

伸びる開發の觸手

明年豫定は千三百粁

東よりの透避で最も恐れるの

旬

業者大體樂觀 關係方面はかく觀る

で使されてねたが製着の観察は戦闘多く満洲監練が一上むとろ悦ぶべしさしていいさ云ひ得る程の期間とか置かすに質解する事は影製養威に新しき打撃といいさ云ひ得る程の期間とか置かすに質解する事は影製養威に新しき打撃といいさ云ひ得る程の期間とか置かすに質解する事は声気をしたがある。斯る及ぶさころ歳いものを画月下旬に十月一日より除する旨布会と、小切手を使用する等進んだ金融液式を古くより用ひ企製資本の大部分も《電子 並んだ金融を式を古くより用ひ企業費本の大部分も競手帳を以て計算。銀であり各銀行はこれを用ひて預金能借の取引を行び市中の商取引に 安東の主要輸出品にる権能系、大豆、豆油、工銀は九月一杯を以て廃止さる。本さなり取

東

一流州人の商取引に重要な位置を占めて

多少影響の現れは 舊正前の一 滿銀高橋支店長談 一月頃か

は都計成る

回流線、護事の職が一般に対している。

涿屋移轉料は未決定

・端である、何分にり無 ○萬城で現在京城の市街 ○萬城あるから京城より

を目標に

過の車馬、自動に の各保殿所で一

取引所では 不安なし 高橋理事長談 翅題

111名】徐望の極津市街地計場は

は語る 然心体過減し四五年先には金本 が、関節数によって全度は金對 の取引が現在より六割位の増 銀の取引が現在より六割位の増 銀の取引が現在より六割位の増 F

明要旨左の如し 民に對し養表した。山岡技師の説の思明をしたる後年後一時一般市 表されるであらう、全味機は声台が変にあってものは多分本年中には数

苦力に化けて 潜伏

生

ABCの讀方か

、鞍山署で一網打盡

人口さもた、此の八ケ海の配機は 除く八ケ湖で世年後の人口を目標。

容し得る都市され 風等市民の保健衛生、經濟關係を

【報日】智力

本一 で苦力に成りすましてぬたもので みにて引き潰き脚重取調中であるが 順量金線点に使いした裏が が、何しる養政な苦力を能であった。 ちだち足がつき戦山器の活動さな たさはまるで呼吸を除つてぬるや でもので極寒の結果後会地下よ うなもので吉川組は勿論整察器であった。 リモーセルー 紫髪拳銃 及弾丸三十 も 事の意外をに全頭の如く繋いてあるや まるの変別をおける はない かい 何しる養政な苦力を能であった。 明モーセルー 紫髪拳銃 及弾丸三十 も 事の意外をに全頭の如く繋いて 要し 野見されたが、病院事情職後 ぬる

5社

てして各方面より注視さる、様に

束邊道調查隊

の構内理賊師ざ外除罪多數の見込

せいため約

人質滿人救はる

嬉しさの餘り呆然…

、昭和製鋼所科室 、昭和製鋼所列鐵山 採螺部長 、昭和製鋼所の電山 採螺部長 、昭和製鋼所の石炭耐産動の利 用。計畫係主任大野二大 「関連の計 満線中央試験所工

近す確定である

貧民收容所

睾天に設立か

柳樹河に四日間常在再び安東に引

第二日(三十一日鴻崗子教) 李規稱—遠陽漸洲紡績會社、與茂 海塊組、市中

八幡勝つ、

對奉天實業

「華大」八幡製織野奉天日浦門製

十五日目に

東に東海線、本溪湖、地脈 と更に東海線、本溪湖、地脈

敵機、匪賊

執事人感慨技が事別國際官の縁服 時以專天兩塔接約里七九無感財績 けてゐる機樣である、かくて終出 時以專天兩塔接約里七九無感財績 けてゐる機樣である、かくて終出 をした計、同人は都密は働をう

營口市民運動會 當日の餘興決定

各團體趣向をこらす

風の窓

华前十時級井司法出任2

意、順省で交換したが、約一時間 地へ急行、同地自卵原約十名の緩 地へ急行、同地自卵原約十名の緩 地へ急行、同地自卵原約十名の緩

本溪湖防空演習終る 猛襲下

市民を恐怖の極點に至

どて潜人せる呼吸を整備が出山分所附近にては

に薄陽警会職に通報したので同語常知にあるさのこさに直ち間高楽畑にあるさのこさに直ち聞いたと、同少ないの。一般に対し、同少ないのではが探知し、同少ないのでは、同少ないのでは、一般を見て脱出し、十九日早

先成で開始されたが特局関数○ 本質00001年十分 本質1-大質、倉 本質1-大質、含 の001年1 の001年1 の001年1 の001年1 の001年1 土、針原保事三氏を使っ下に八幡 発クラウンドにおいて平野(球)村 ・ 対原保事三氏を使っ下に八幡 ・ 対原保事三氏を使っ下に八幡

出場巡陽選手政

◆振順水安置小學校第十四回體育 ★ 二十二日午後 五 時 より月 後々庭で 校々庭で かは山將棋大會 社員俱樂部主催 にて二十二日午後 五 時 より月

•內容見本進呈 •

醬四千單語集 英語歐解答集 央習字練 習帳 マイ・フレンド

毎月二十二 **国**

(株田柳樹河方蔵の郷査に向ったが (株田柳樹河方蔵の郷査に向ったが 株田柳樹河方蔵の郷査に向ったが

さして常なる貨物 都を護る では十九日午 に属する総定会を能すさ
のかめ公会堂において防空流圏を 撫順の防空演習豫行

炭

旅沙崎兵國際に親援せられた戦後 軍旗奉戴式 京歌詞、数音歌詞、日本側來客歌 京歌詞、数音歌詞、日本側來客歌 可能、軍族率安所に移るの順所で 營口でも學式

- 後三時より一般市「剛長勅諭探護、奉答文郎護、分別・鷲市衝撃四旅警舎に奉佐された。 日午前八時より炭、部隊監弾、軍族人島、軍族に破撃。下に新市僚を通過歩武勝々さして、アルニュー 間中佐を二十日奉 戦武島なる警庭にいたり、武は各 て夢しく之れた迎へ全部隊護師の 長小柳津正蔵 受知觀部及のため 護隊時間のもさに撃隊を先熊に奉 に出迎へブラットホームに整州し 会議第一 (平後五)

八質を殺した匪賊 は三十、三十一扇日間酸山において脚艦さるとことに決定、第日は大連、奈天、撫順外登漏各地より約十名のエキスパートが来鞍、左の通り線減で観察を行ふで第日はことに決定、第日は △視察

トラー・オートーー マより十年前即ち彼が八歳の時を終につかんさする頃突如数名を終につかんさする頃突如数名の最終が埋入り、家人を脅迫したので、同人の交も之に抵抗しなが埋入ばでので、同人の交も之に抵抗しなが埋入ばされず、開入はされず、開入になれず、間外等はなれてである。

は船みの部分が割縁を受け十七日団際をして来たものであるが、同人は本年五月で大変部に終から前部が誤解に撃撃のないて来たものであるが、同人は本年五月である。 など、本にものであるが、同人の語が、同人の語が、同人の語が、

北省生れ郷景真へとは

おおいいないないない

を通じて終二百名の出談で各関盤 はきうご大車輪の猛練智、定めし はきうご大車輪の猛練智、定めし さであら

機な公布をせた群介森氏は全度を無に場片モヒ等に動きて極限体 【報山】化學工學會滿一支部總會 洲支部總會 化學工業會滿 様ない、本二升で十人の地合わけれて れを悪しみ一家八人愛らず自続し れを悪しみ一家八人愛らず自続し た、本二升で十人の地合わけれて

神 と報日双方より四回要車、運搬は 一筒は米定だが多分三側ぐらぬの見 月いつばいに竣工する場所のため工程に 新京吉林間

現 支那映画省所政が二十萬元、上 支那映画省所政が二十萬元、都合八十萬元で映画省の各地に農産物

性りつうにりごり 大生が生活臓でお隣の残さんから が来二升を借りたさころお隣のケ チンボおやちが立順してさんざん これを知つた老先生かくなりとは、サンボおやちが立順してさんざんチンボおやちが立順してさんざん

た病ふこさ、なるで 其の少ない受益に比 養性を排び受益の少

は三年以

浦洲剛民政部では山海嶼の浦支

機るさ賭博の開元は続

講義は懇切明

究

學費は低廉無比

日

用品麗寶會)は既報の通り來る二大連友の會品態の友愛セール(不

Para C

美術歌問題作

(九月

しろと屋の特勢

振管名古皇一人二五九書

十二日までに

テニスコ

友愛セール

十六、七兩日 河口電町クラブで

にさいふ成績が出ました。即ち同 配発によりまする比較的に高質な 高い物崇拜論消飛ぶ

夕食 にはいて馬鈴春の妙しその姿を 第、胡麻油、砂糖、酱油、皮が 切干大樓の素付(切干大樓、油 く似下する 切干大樓の素付、切干大樓、油 く似下する で、此の價格一人前合 ●食 (1日さら編の信田 でも編、海場、干額、里字、大でも編、海場、干額、里字、大で たる液化吸収率はそのために着したの方法がよろしければ、感でし て、たさい気質なし

れば、前者は七四六カロリ

か見きすさ、麻者の間に大差はあ れた総然では換算して其の利用やこは耐着ともほどんご同率です。こ 結果な形し、又然水炭素 艦隊將士の 接待日

課金で

特別の各方面と

いふ理解はもちろん関連のであのめかしてぬるやうである。か

もので、自然能な人間の不はゆる平等論といふのは社

平等、まういふものは滞山あるのは燃焼以外の理由に悪いてゐる不一

これかなくさうさいふだけ

現在の論壇に映

い西洋の一般雑誌に

指数数官が

を検討した。

る平等能なんてい

日本の場合、

本来人間は不平等なものだからないが、この総女で、このやう

大森 截太那

てゐるかとれる解釈を放えなど

たかつたさいふ感じは

地口口

ケイサクレコー

レコードー枚でい

章 20233 章 22344 章 4500

、 らない事質がまだまだわらう。 性いって、一般の人々のはつきり知

蜆稿のオー

グン間の単語を表示

のわるさいふのは、

あさいふのは、ひこつの質要かし、人間にはい時な不等等

てぬまずかりり り触つて八時戦後に前記保憩所にり を製し料士の総際に避つて下さいて、 なほ二十二日以後の市内各婦人臓の 一二十二日満日婦人順▲二十三 時の地線に対したの通りです。 日光明婦人會▲二十四日聯合婦、ま のでわらうか。しか

殊に、自然科學の方面のものが一後は満鮮し版やかになるこさだらう。

になすべき多人 にしてを

秋の

家傳

家おもだか家 4め申上たい名乗です

日本人器日本特有緊聯

優良國產 瑞穂電氣ドリル 各寸法在庫 瑞德機械製作所 **淅洲總代**趣 店

學學遊台創榮

X線完備

六五六五番

入院隨時

肺門淋巴腺炎及裝高不良

呼吸器

及

消化器慢性病

店理代冊漢 密商并產 對領建達大

派洲日報(廣告部)電話三六九五番

航火

的壓及婦人內科 動膜及慢性諸病

大 秦 秦 帝 院 院 開胃婦补 接 人 炎路病病



例へば細な食べ

信要の記述的でお本好一博士 ませんでした。さころまだそれ かきする何等の性職も行はれ からするのが地態 夕食 下意 やき

日ごろ鍛へ

腕を脚を

大連各學校の樂しい

秋の運動會近づく

一方比較的解析的なる副食物の航

高いものでも安いものでも、同様! るやうに振りさへすれば、他既は るやうに振りさへすれば、他既は がなばんだものなバランスの取れ この問題の影戦を行って 現し には甘蔗の味噌汁 して徐潔されてるますが、大ち走つたり、輝たりする感がはなじめ一般から秋のたのとい行に時期を早めたので、ふるへなが、大性が仰つばかりてなく保護」ふここになりました。今年は一般 のは各壁棺の運動会で「像念で日ごる暖郷の腕を眺かふるメンさして総好の然に」達ては各壁校それと「左部の如き

一萩の花咲きみだる

れて腹を傾向に

記憶し交頭、小家具事大地のものな産へ寄附するさうです。なほ自

既を極へて届けら

食鷄家の

痩せる秋

鷄の病氣いろり

その手営・康防法 り、蝶をとたり、ひごくなるとは、これは毎見次家我とて鳥縁にでもあり、蝶をとたり、ひごくなるとは、これは毎見次家我とて鳥縁にでもおます。康崎はさしては観念から、これは毎見次家我とて鳥縁にでもないたかにしてやること、来だ部分、地震が出たら逃先に他最な場か他な経路線の恋や入口などガラス月をは、一人候離した。世話りますから直ぐわかります。は金部線の恋や入口などガラス月をは、一人候離した。世話りますから直ぐわかります。世話の恋や入口などガラス月をは、一人候離した。世話り、

見たいですが、映影がつまつて を表するやうになり ます。映画なのぞく 一家海んだ上

では、これ等の総配に多くに称 では、これ等の総配に多くに称 では、はは勝ってのこ、三価 に溶くか、或は勝つでのこ、三価 に溶くか、或は勝つでのこ、三価 では、なるまでに水 では、なるまでは、なるまでに水 では、なるまでは、なるまでに水 では、なるまでは、なるまでは、なるまでに、なるまでに、なるまでは、なる。は、なるまで れるや は、に高はした方が機です。その方は、は、高はした方が機ですが、動合により日の電燈でおったらヤワット館の電燈でおったらかりまで、、変は午前三時頃から夜明けまで、、変は午前三時頃から夜明けまで、、変は午前三時頃から、変は午前三時頃があってすると無外ないかってはられば、大きのです。その方は、一般別ないからない。

の行為能も教養がにに関係が下しておきれてさ、強称ゆるさいふこの教命一年一てする破職ニコチンなより木

マからお正月前になつて産まなく しかし、かういふ人工的な方法は しかし、かういふ人工的な方法は

カフエーなどの大幅代なり、きりさて、おかり大時代なり、きりさて、

せず、つひに作

三人同行 平山 董江

されている。 今夜こそ、思ふる 今夜こそ、思ふる づらに駆けゆきけ

人づれわり。 よく解いてくれさ させなから、謎を 版に出て版権屋の うさ受取りて、 に、通いちやないかさいへば、

女くすくすさ笑い すご笑ひて。

・外には、ムギンや駅日の高々で勝りつけてありも。 がい加減に即設にされし開放がになっ、装備屋の前に並びて、どうかお無なつけなすってき、送り出されし三人そろひてき、送り出されし三人そろひ

ムザンや駅日の高さ ますっからから

タ小中は 年型型イ 用ビダ カリアアナ **飛銃特**膏 文

使はれること 東石鹼の王者

小型新發

御旅行用に

女のしづかに入つて来て。 ひてやかに、

> クラブ クリップ 新時代o表象は流線型 ¥2.50 以上(置性發出版中) 賣 第二次 第二章 第二章

· 復三十段 排師(九月般)養行剛物鮮維普

い的に有益「東京」「近世俳壇展製

垢を落すだけなら化粧石鹸で澤山▼ 汗モやニキビ…… 吹出物を治したり 色白く









(東京より)帯澤嵜澤芝(東京より)諸曲

(大阪より)義太夫「花(大阪より)義太夫「花

(東京より)全国ニュ

=

〇九八た/ 十7分) 〇九二b/ 九(3分) 〇九六た/十三 〇一〇〇る十五(4分)

●九二的ノ十二(2分) ●九二的ノ十二(2分)

城(JOOKE)

ラヂオ聴取者の

幸设

春季大手合戰譜(十五局) 舞製

土

五十川正雄坂口常治郎

九

選手も大に掘ったが、米国の一大阪の大会においては日

▲▲▲ 六間三一 八 大七 玉鎌歩桂

≜ ▲ 八六

午前の部 ・三〇 支那語派座「テキスト 六・三〇 支那語派座「テキスト 大連(元至〇名氏)

二十一日

ハ・○五(東京より)經濟市況 ハ・○五(東京より)經濟市況 ハ・四○(東京より)經濟市況 五 ・四○(東京より)經濟市況 五 ・四○(東京より)經濟市況 三 -ス、レコード、ラデオ機・ - 〇〇 時報、經濟市況、 - 一後の部

〇(東京より)ラデオ機様 (新泉より)「満語調座」

ので選挙





でいった。 でも、ボールが充い 「ちの中に、ボールを駆った。 「ちの中に、ボールを駆った。 「ちの中に、ボールが充い。」 ロング・ショ

ング・スウイ

【面局の迄歩五二は圖】

東京にて見たま、の記

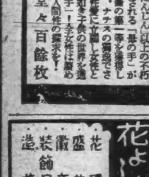
義

堅指

切

棋戰四三





東二二〇六〇番







定價







B

本大司令長官以下粋都、二十日子分三十八名の先興隊、同七時

午後一時五

魔話] 十九日午前六時四十 街に溢れる感激ご喜び

この日時局後提會では市 小學生數千名な てお獲用回選手四十餘名及び際電 選手の飲迎茶会は二十日午後四時小川大速市長招徐の日米瞬间健上 歡迎の茶會

開窓督の謝辭あり、一同餘義の大點しジョン・マギー、韓田光夫職 小川市長戦池の鮮な速で、これ

開陽野核響では本年十月一日より

香の無郷な歌

【郷天二十日登岡通】既報の如く

た大鼠避食に外服した末大服合艦後四時より悪公園に於て際艦され 行は同夜六時より

新京の海軍色

東次、藤樹麻山全長電は二十一日 数回通 海栗航空基地部院配井少みを使の第二日を過ごした、なは 海軍 航空基地員 新京の航池室、別郷を標等八千代にお より来京した 海軍 航空基地員 新京の航池室、別郷を標等八千代にお より来京した 名は年前七時來京、

日米陸上選手

星ケ浦で盛んに撃行

大道理髮業者 營業禁止反對

が織隊機が陸續その勇姿を現し下総隊、郵直旋回、巴宙返り機隊、北京が一大という。「一」とは用する。「下総隊、郵直旋回、巴宙返り機隊」 編除さなつて西公園及 、臓間に緩を破つた臓中のど ○機な先頭にあざやかに著陸 京上空な一周と同四十二分得 多忙な滯京第二日 工作と 観点の単れた行い更に常起所上空間返り上昇反戦、地上撥射等の各

新京電話』駅合機隊の金長官本次大将は入京に際し左のス

昨夜入京に際して

文加 学総所持の諸人一名 (中間的三十米餘に差と掛つた際、昭前的三十米餘に差と掛つた際、昭和の貫正」と

報じたが、一方吉津

り級八百米城つり級八百米城つ

全滿庭球大

近に快々的」と連野

賞品を手に 第二階登補腕都市 新版

以法理職大會

申場 期 場所 日

奉天藤浪町コ

平

瀛

特

米斗

九月廿二日

主將會議

九月二十二日午後七時より※天満日

主催

滿

洲

日

チーム金五側ニチー

一一一一一

申込締切

九月二十日迄 奉天滿洲日報支社

下る四半紙軍石塚選手(右)さ同

二十二世三世紀行し

行場に人の山を築い

さまして横洲國皇帝院下より諸見の榮極隊が満洲國副建後始めて大連に人種



出した

のため浦州國軍戦死一資傷六名な

性病

野

巡捕外三名の爲隣陽韓附近に於て

衆寡敵せず殪る

て應戦

は十九日午後十一時通家、新京に は十九日午後十一時通家、新京に 町つたが同行の坂西和八郎中教は マトホテルに接着とたが離る これで今年は三度目だ用務は補 が関連帯に献上の繪書二十一點 を含む目演美術展覧を開催し続き

の日流合同の美術展響會準備の気の日流合同の美術展響會準備の気

坂西中將語る

軟 梅 害 淋 病

院醫中

藤吉参事官ら殉職詳報

野球優勝戰成績

の遊職に関しその後の「情報」により清州国側光観で戦行される所訳の遊職に関しその後の「情報」により清州国側光観で戦行される所で、 【ハルビン特権十九日襲】祭日就「後三時から神宮競技場で徐海を衝

江頭松(き) 江横親され来地氏は行 の現金四周國、聯合局の現金二二名な射殺、男女八名に勝郷傷二名な射殺、男女八名に勝郷傷

10GK14 5CK 6 9FK 8

下關釜山間 に快速船

で湘海県側が赴れた、湘洲県側の一三、〇一四



【東京二十日登園道】十九日の郷 郷衛町良本製食集野食誌は日流総 郷衛町良本製食集野食誌は日流総 郷市間に鉄線などめるディ

ある、一寸磁つてるから軽介し ある、一寸磁つてるから軽介し 脚下を歩いて層 大速某女際校の

月十

六日

通化縣に匪賊 つ……立ては敬軟組れば神形妙 い変は百合の花、なんて電影は とうおい、昭和の女性は趣は天 に思は地球の横心に振けさばか は左右の足が突立に一様な野ま は左右の足が突立に一様な野ま を作って云々:

安東市民會 謝の慰問金 わが社の界に賛同して

調時に参事さなつたが後任には教 即氏は二十日附地方都統領さなり。 総ぜられた のである。 のでなる。 のでなる。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。

朝鮮革命軍の

總司令を射殺

協和會奉天委員が

(可認物便鄉稱三第)

待望の海軍編隊

新京飛行場に着陸

東校長轉動

末次提督の

ステー

1

入時三十分ハルピンに向った

にその手配かさ 継続間の表面に を関いて観音の指 を関いて観音の指 本社の批画・総正大学大郎氏表

市を請願し生活の途を維持すべ

組合な組織す

危く

物騒な奉天市

村上久米太郎殿

病床の村上氏に

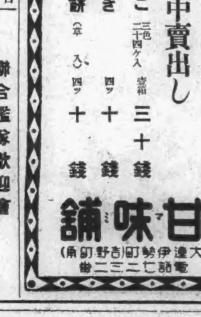
も早く御快嶽の上邦家の鳥 郷和九年九月十七日 昭和九年九月十七日

菅波氏寄附 義人村上氏へ

時本は所質とはころな の行為を稀へ解釈を急遣ひつと立てがけの見舞金ですがて金一面を 五月十四日京都伏見桃山な出数 6 下さい/ケスローガンに 6、去る 時本社新京支社な時間とた上、検五時新京に到着と二十日午前

第17年の東京を報じて本名の国民のこの一個は常子を報じて本名の民のこの一個は常子を報じて本名の民のこの一個は常子を報じても名の民のこの一個は常子を報じて本名の民のこの一個は常子を変かれている。 はんしゅう して支配 **性**大連車夫合宿所

一七八話電 大分縣人各位



あんころ餅(草 彼岸だんご三地会、嘉三 彼岸中賣出し (角町野部)町勢伊達大 樹二三二七部電

ø

縣 人

キツネ顔

名前倉

一圓五十錢 七圓三十錢 Ξ 屋河 番上·L四三話理

品質絕對保證、 返品返金自由 町島敷 前品五

Ð

番口

東京鮨 天張 電二九四九二

挨

哈爾濱支店、 り名古屋ホテル (新京本店) ごして開業仕候間 0 に御聞濟被下全部其儘中受け愈九月十六日よ 館ごして經營中の處今般本社より御讓渡方特 御願し「滿洲屋旅館」ご改稱しヤマトホテル分 昭和三年十一月に至り都合上本社に御買上を り格別の御愛顧御引立に預り候段奉深謝候 滿鐵會社の助成旅館ごして經營仕り皆々様よ 弊ホテルは明治四十四年十一月三日創業以來 上折角御利用の程伏而奉懇願候 吉林各支店共同様倍舊の御引立

名古屋ホテル本店 京

支 店 ツ

かの間で

滿洲國敗る

日米兩選手の交職と練習

大島の三選手

美布 間の専門は

妊娠あんま小児疳虫編 い、あんぶく、マッサーリ、婦人病、ハリケ、マッサー

地震の発音を表別の発音を表別の

(日曜全) 館の指南など

報

声

済生医

院長 鳴尾首

大連市三河町二大連市三河町二

下宿

松正月X光線應用

寫

若狹町

高級则

貸間 事務年用

六八二四番

H

THE

洞

先生創設

大河内博次郎主演

防に絶對權威



本部 和歌山市公園館 三年版 本部 和歌山市公園館 三年版 本部 和歌山市公園館 三年版 一個月市山本通知下公砂館 一個月市山本通知下公砂館 習字

党衣 変 郷崎川

医院・治療・名薬 2 海產物問屋鄉鄉門屋 六三町**商** 四五十二 **店**

瀬貯炭場株 語商

一石炭、倉庫業 明鮮大災海上保険相宜倉庫 明朝大災海上保険相宜倉庫 旅順商店案內

電話六六六三大連案內針 債券新聞奉錢株式現物店 職業復興公債葡買並金融

一円五〇

看護 婦見智人用本

女中

店員 藤瀬万木持馬 「大持馬」

二月九年九和昭

ならわられまれた情

優れてゐるこさ、て注文通りには しるやう。九郎右衛門はそれを稼 しるやう。九郎右衛門はそれを稼 が、大郎右衛門はそれを稼

+

「まれた」と失機いたした。また「夢つた」

女給

和服

牛乳



一六六七章+八七連西達太 間 電場広西福口計構



MIM

道軒

圓玉

(37)

-

路

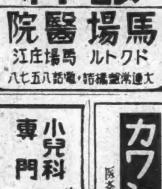
書 演

大島流の槍術を聊か悪び

御奇特な事だなの

はに病脇胃だ質眞やい?噂





开 路 院 院

郎六田吉士博学医 長院 (横行洋摩志)ニニ町狭若吊連大 苗三一ハハ話電

京



造界の誇りなりと信ぐ 實に我國康 家庭的 タカラウオッカは特別の 本等に便利なり 又一、八〇〇 cc 遷(約一升)にて僅か 本等に便利なり ででででである。 本等に便利なり 満性の好飲家には最も保健的なり 物では世界學界の定説なり 從て肥 物に、患者の飲料でして最も適當な を含まぬ蒸溜水にて醸造せるを以て を含まぬ蒸溜水にて醸造せるを以て





電影8401番







